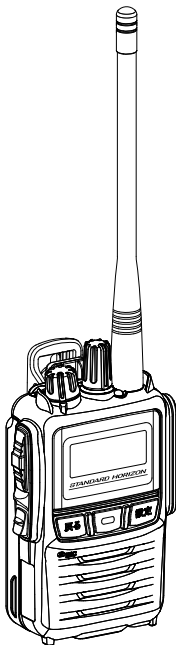


STANDARD HORIZON

携帯型デジタル簡易無線機

SR820U  Bluetooth®

SR810U



取扱説明書

無線局種別コード：3B（免許局）
4 値 FSK 変調

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書
をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線機は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目次

クイックガイド.....	2
Bluetooth の設定 (SR820U のみ)	6
はじめに	8
安全上のご注意 ～必ずお読みください～	9
正しくご使用いただくために	11
防水性能について	11
電波干渉について	11
通信方式に関して	12
構成品	12
オプション	12
各部の名前と機能	14
準備	20
アンテナの取り付け	20
ベルトクリップの取り付け	20
電池パックの取り付け / 取り外し	21
リチウムイオン電池パックを取り付ける	21
リチウムイオン電池パックを取り外す	21
リチウムイオン電池パックの充電方法	22
電池パックを無線機に取り付けた状態で充電する	22
電池パック単体で充電する	23
アルカリ乾電池ケース (オプション) の使いかた	24
電池の消耗について	25
基本的な使いかた	26
キーロック機能	27
通信方式について	28
設定のリセットについて	28
UC (ユーザーコード) 通信	29
UC (ユーザーコード) 通信の設定方法	30
個別通信	31
個別通信の準備	32
個別通信の呼び出し方法の設定	33
呼び出しを受けたとき	36
通信時に動作する機能について	37
通話中の「ピピピ」音 (連続送信時間制限)	37
ヒートプロテクション (高温時の保護機能)	37
便利な機能	38
Bluetooth 機能 (SR820U のみ)	38
送信出力設定	39
自動音声送信 (VOX) 機能	39
セミ VOX 機能	41
ミュート (消音機能)	41
プライオリティ CH	41

ローンワーカー（自動的に緊急モードが起動する機能）.....	42
マウンドン（無線機が一定時間傾くと緊急モードが動作する機能）.....	43
プログラムキーの機能を変更する.....	44
簡易設定	46
ライト禁止.....	49
秘話通信機能.....	49
リピート再生機能.....	50
録音メモ機能.....	50
クイックアンサー機能.....	51
スキャン機能.....	51
スキャンタイプ.....	52
スキャンCH.....	52
RX イコライザー機能.....	52
TX イコライザー機能.....	53
ノイズキャンセル機能.....	53
送信出力.....	53
自動音声送信（VOX）.....	53
セミ VOX.....	53
VOX 感度.....	53
メイン画面.....	54
メモリーチャンネル.....	54
Bluetooth 機能（SR820U のみ）.....	55
自局情報.....	57
無線機情報.....	57
宛先 ID（個別通信のみ）.....	58
アンサーバック（個別通信のみ）.....	58
着信履歴 / 発信履歴（個別通信のみ）.....	58
メッセージ送信（個別通信のみ）.....	58
メッセージ確認（個別通信のみ）.....	59
リモート制御（個別通信のみ）.....	59
セカンダリ PTT 機能.....	60
PTT ホールド機能.....	60
UC ベル機能（UC 通信のみ）.....	61
個別ベル / グループベル（個別通信のみ）.....	62
デュアルレシーブ機能.....	63
プライオリティ CH スキャン機能.....	63
拡張機能	64
機能拡張メニューの基本的な操作方法.....	64
セットメニュー.....	65
コールメニュー.....	77
オプションの取り付け	81
故障かな？と思う前に	82
定格	83
索引	85

クイックガイド

① 電源を入れます。

充電した電池パックを取り付けて、[VOL] ツマミを右にまわします。

【SR820U のみ】 購入後に初めて電源を入れたときは、Bluetooth の設定画面が表示されますので、6 ページの「Bluetooth の設定 (SR820U のみ)」を参照して設定をします。

② 音量を調節します。

[VOL] ツマミを 10 時から 11 時の位置にあわせておきます。その後、相手の音声聞き取りやすい音量になるように調節します。

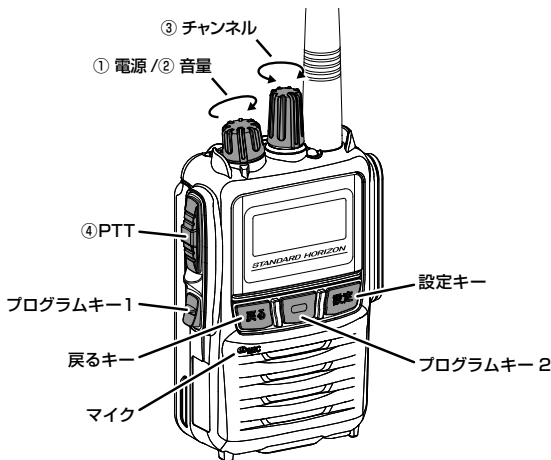
③ チャンネルをあわせます。

[ロータリースイッチ] をまわして、通話したい相手と同じチャンネルにあわせます。

④ 送信 (通話) します。

PTT (通話) ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

PTT (通話) ボタンを放すと、相手の話を聞くことができます。



プログラムキー 1、プログラムキー 2

あらかじめ設定した機能呼び出します。
工場出荷時は以下の機能が設定されています。

プログラムキー 1

短押し	SR820U：話すと自動的に送信する VOX 機能の ON/OFF SR810U：一時的に音を消すミュート機能が動作します
長押し	各キーやロータリースイッチのロック / ロック解除

プログラムキー 2

短押し	ディスプレイ、戻るキー、設定キーの照明の ON/OFF
長押し	長押しするたびに送信出力が“H” (5W) → “L” (1W) → “M” (2.5W) と切り替わります。

プログラムキー 1 と 2 には、以下の機能を割り当てることができます (割り当て方法は 44 ページ参照)。

機能	動作
無効	機能無し
キーロック	キーやロータリースイッチがロックまたは解除されます。
バックライト	ディスプレイ、戻るキー、設定キーの照明が点灯または消灯します。
スキャン	スキャン機能が有効または無効になります。
スキップ	現在のチャンネルをスキャン対象または対象外に設定します。
送信出力	送信出力が 5W → 2.5W → 1W → …と切り替わります。
ミュート	ミュート (消音) 機能が有効または無効になります。
VOX	自動音声送信 (VOX) 機能が有効または無効になります。
セカンダリ PTT	押している間、セカンダリ CH に設定したチャンネルで送信します。
緊急	緊急事態をアラーム音と LED の表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して緊急を知らせます。
録音	ワンタッチで相手の音声を録音することができます。
再生	リピート再生機能 (50 ページ参照) が動作します。
モニター	UC コードが異なる信号を一時的に受信することができます。
ローンワーカー	一定時間、送信 (PTT) 操作が行われなかった時に、緊急動作を自動的に起動します。

機能	動作
マウンドン	本機が一定時間傾いたままになると、緊急アラームで知らせます。
秘話	32,767通りの秘話コードが一致する無線機どうしだけが交信することができます。
クイックアンサー	あらかじめ録音してある音声を送信します。
音声案内	現在のチャンネル番号を音声で読み上げます。
ワンタッチ VOL	音量ツマミをまわさずに、ワンタッチであらかじめ設定した音量にすることができます。
プライオリティ CH	あらかじめ登録してあるプライオリティチャンネルを呼び出します。
メモリー CH	あらかじめメモリーに登録したチャンネルを呼び出します。
メモリー CH セット	現在のチャンネルをメモリーに登録します。
リスト1スキャン	高度な設定をおこなったスキャンを行います。
リスト2スキャン	設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。
ライト禁止	ディスプレイ、[戻る]キー、[設定]キーの照明およびLEDインジケータの点灯をON/OFFします。

設定キー

簡易設定画面が表示され、無線機の設定（下表参照）ができます（詳細は46ページ参照）。

個別通信時は、約2秒以上押すと個別通信に関する設定が行えます。

機能	動作
ライト禁止	ディスプレイ、[戻る]キー、[設定]キーの照明およびLEDインジケータの点灯をON/OFFします。
秘話	秘話機能のON/OFFを設定します。
秘話コード 《秘話“ON”時のみ》	秘話コードを設定します。
リピート再生	自動で録音されている相手局の音声を再生します。
録音メモ	録音された音声の再生 / 消去。
クイックアンサー	音声メッセージを再生 / 消去。
スキャン	スキャン機能の有効 / 無効の設定。
スキャンタイプ	スキャン機能動作時のスキャン方式を設定します。
スキャンCH	スキャンチャンネルを設定します。
RX イコライザー	受信音の音質を設定します。
TX イコライザー	送信音の音質を設定します。

機能	動作
ノイズキャンセル	明瞭な音声を送信するノイズキャンセル機能を ON/OFF します
送信出力	送信出力を設定します
自動音声送信 (VOX)	自動音声送信 (VOX) を設定します
セミ VOX ^{※1}	セミ VOX 機能を設定します
VOX 感度 ^{※1}	自動音声送信 (VOX) の感度を設定します
メイン画面	チャンネル表示画面の文字の大きさや表示内容を設定します
メモリーチャンネル	よく使用するチャンネルを 5 チャンネル登録して、後から簡単に呼び出すことができます
Bluetooth 機能	Bluetooth 機能を ON/OFF します
Bluetooth 機器検索 ^{※2}	Bluetooth ヘッドセットを検索して接続します
Bluetooth 登録機器一覧 ^{※2}	登録済の Bluetooth ヘッドセットを接続します
Bluetooth 登録機器削除 ^{※2}	登録済の Bluetooth ヘッドセットを削除します
Bluetooth マイク感度 ^{※2}	Bluetooth のマイク感度を調節します
Bluetooth セーブ ^{※2}	Bluetooth ヘッドセットのバッテリー消費を少なくします
Bluetooth 初期化 ^{※2}	Bluetooth の設定だけを初期化します。
自局情報	UC、個別 ID、グループ ID を表示します。
無線機情報	現在使用しているチャンネルの周波数を表示します。
以下の項目は、個別通信時のみ設定することができます。	
宛先 ID	個別通信時に呼び出す相手を指定します。
アンサーバック	宛先 ID の相手局と通信が可能かどうかを確認します
着信履歴	以前に受信した宛先 ID の履歴を 10 件まで表示します。
発信履歴	以前に送信した宛先 ID の履歴を 10 件まで表示します。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ (最大 10 件) を送信します。
メッセージ確認	受信したメッセージの履歴を 10 件まで表示します。
リモート制御	指定した無線機をリモート制御します。

※1：自動音声送信“ON”時のみ

※2：Bluetooth“ON”時のみ

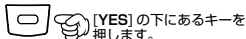
戻るキー

- ・各種の設定を行っているときに押すと、1 つ前の画面に戻ります。

Bluetooth の設定 (SR820U のみ)

購入後に初めて電源を入れたときは Bluetooth の設定画面が表示されますので、Bluetooth を使う方も使わない方も、はじめに下記の手順で設定してください。

Bluetooth ヘッドセットを使う場合



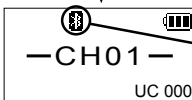
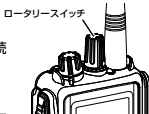
接続する Bluetooth ヘッドセットを
ペアリング (接続) モードにします。
操作方法是、ご使用になるヘッド
セットの取扱説明書をご覧ください。



接続したいヘッド
セット以外の名前が
表示された場合は、
ロータリースイッチ
をまわして、希望の
ヘッドセットを選
択してください。



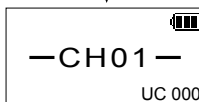
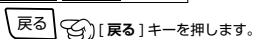
表示されたヘッドセットを接続
する場合は [YES] の下にある
キーを押します。



SR820U とヘッ
ドセットが接続さ
れると点灯します。

- ・次回からは、この Bluetooth 設定画面は表示されません。SR820U とヘッドセットの電源を入れるだけで、自動で接続されます。
- ・送信するときはヘッドセットの送受信切り替えボタンを押します。もう一度押すと受信に戻ります。

Bluetooth ヘッドセットを使わない場合



Bluetooth ヘッドセットを使わ
ないで交信することができます。

次回からはこの Bluetooth 設定画面は表示されません。SR820U の電源を入れたら上記のチャンネル番号の画面が表示されて交信を始めることができます。

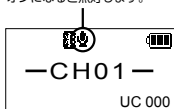
●自動音声送信 (VOX) 機能

話すだけで自動的に送信状態になり、話を終わると自動的に受信状態に戻るハンズフリー通話ができます。

1. SR820U 側面のプログラムキー 1 を短く押すと、音声で送受信を切り替えることができます。



音声自動送信 (VOX) 機能がオンになると点灯します。



2. 自動音声送信 (VOX) 機能をオフにするには、もう一度側面のプログラムキー 1 を短く押します。

- ・ Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます。
調節方法は“Bluetooth のマイク感度を調節する” (56 ページ参照) を参照してください。
- ・ Bluetooth ヘッドセットのバッテリー消費を減らすことができます。
設定方法は“Bluetooth のセーブ機能を設定する” (56 ページ参照) を参照してください。

● Bluetooth ヘッドセットを“使う”“使わない”の変更

あとからいつでも、Bluetooth ヘッドセットを“使う”または“使わない”を変更することができます。

1. SR820U の電源を切ります。
2. 側面のプログラムキー 1 を押しなが



3. “Bluetooth を ON にしますか？”の画面が表示されますので、左ページに記載してある操作を行って変更します。

● 接続するヘッドセットを変更したい場合

1. SR820U と Bluetooth ヘッドセットの電源を切ります。
2. 側面のプログラムキー 1 を押しなが



3. “Bluetooth を ON にしますか？”の画面が表示されますので、左ページの“Bluetooth ヘッドセットを使う場合”の操作を行って、新たに接続したいヘッドセットと接続します。

はじめに

● ご利用にあたって

- ◎ 本機は、技術基準適合証明を取得し、ARIB 規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線機（種別コード「3B」）との互換性を確保しています。ARIB 規格以外の機能の互換性はありません。
- ◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- ◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。

● 免責事項

- ◎ 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

● アフターサービス

- ◎ 正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社

国内営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

TEL：03-6711-4055

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。



危険

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）。



必ず守っていただきたい注意事項です。



危険



自動車を運転しながら交信や操作をしない

事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。

運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。



航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。



引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない

発火事故や落下事故などの原因になります。



電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険

化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。



電源端子や電池パックの端子にはんだ付けやショートをしない

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。



リチウムイオン電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険

化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。



警告



分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です。

分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。



本機は、“IP68 相当”の防塵・防浸構造になっておりますが、特に海水などがついたときは真水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる

性能や寿命を低下させる原因になります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカー装着者は使用しない

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります。



煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオン電池パックを外す

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください。



心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



注意



指定以外のオプションを使用しない

ケガの原因になります。

また、本体の故障や破損の原因にもなります。



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない

故障の原因になります。



リチウムイオン電池パックを、指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～35℃です

これ以外の温度での充電は、故障の原因になります。



磁気カードなどを無線機に近づけない

キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります。



無線機を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない

変形や変色等の原因になります。



シンナーやベンジンなどでケースを拭かない

変形や変色等の原因になります。

ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

正しくご使用いただくために

- ◎ 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- ◎ リチウムイオン電池パックを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- ◎ 外部マイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。
コードの断線などにより、故障の原因になります。
- ◎ 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- ◎ 電波法により、無線機やマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- ◎ 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- ◎ 通話する際は、マイクから約5センチ離して普通の声量で話してください。
マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れや、歪むことがあります。
- ◎ 運用が終わりましたら、電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切ってください。
- ◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP68 相当（防塵等級6^{*1}、防水等級8^{*2}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のアクセサリコネクタ保護カバー、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ◎ 本機は、水中での使用はできません。

※1：粉塵が内部に侵入しない。

※2：水深1.5mに30分間没しても有害な影響を受けないこと。

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により、通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル（例：“CH01”と“CH02”）でのご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで、干渉を軽減することができます。

通信方式に関して

- ◎ 本機は、業務利用型のデジタル簡易無線機（デジタル通信方式）です。
- ◎ 本機は、ARIB 規格に準拠していますので、他のデジタル簡易無線機（種別コード「3B」）との通話互換性を確保しています。
※ ARIB 規格以外の機能の互換性はありません。

構成品

- ◎ 無線機本体 (SR820U または SR810U) 1
- ◎ アンテナ (SRA-11K) 1
- ◎ ベルトクリップ 1
- ◎ アクセサリーコネクタ保護カバー（無線機本体に取り付けられています） 1
- ◎ 取扱説明書（本書） 1
- ◎ 保証書 1

・ 不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

オプション

- ◎ 1200mAh 薄型リチウムイオン電池パック (SBR-31LI)
- ◎ 1900mAh 標準型リチウムイオン電池パック (SBR-33LI)
- ◎ 3350mAh 大容量リチウムイオン電池パック (SBR-34LI)
- ◎ 急速充電器セット (SAD-3418B)
- ◎ 連結型充電器 (SBH-30)
- ◎ 連結型充電器用 AC アダプター (SAD-50A)
- ◎ アルカリ単 4 形乾電池ケース (SBT-16)
- ◎ キャリングケース：SBR-31LI 用 (SHC-33)
- ◎ キャリングケース：SBR-33NLI、SBR-34LI 用 (SHC-35)
- ◎ Bluetooth ヘッドセット (SSM-BT10) ※ SR820U 専用

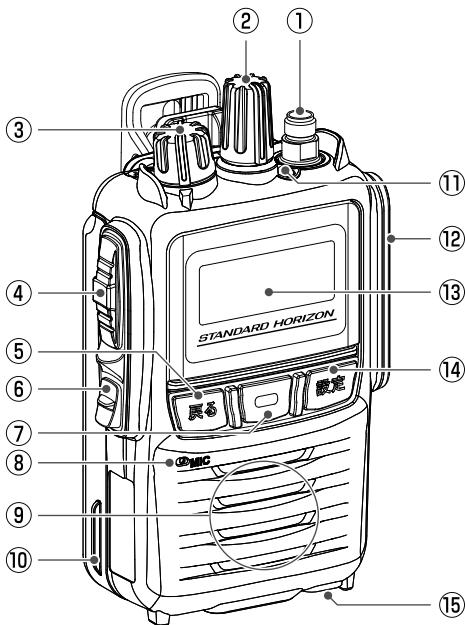
電池パックはリサイクルできます。

電池パックが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



各部の名前と機能

本体 (SR820U/SR810U)



① アンテナコネクター

アンテナを接続します。

② ロータリースイッチ

チャンネルを選択します。

簡易メニューやセットメニューの設定項目や設定を選択します。

③ VOL ツマミ

電源のON/OFFと音量の調節をします。

④ PTT（通話）ボタン

PTT（通話）ボタンを押すと、無線機は送信状態になります。放すと待ち受け/受信状態になります。

⑤ 戻るキー

各種設定を行っていると、1つ前の画面に戻ります。

⑥ プログラムキー 1 (44 ページ参照)

よく使う機能を設定して簡単に操作できます。セットメニュー「F30 プログラムキー1短」「F31 プログラムキー1長」で機能を変更できます。

工場出荷時設定：

短押し：【SR820U】 自動音声送信（VOX）

押すたびに自動音声送信（VOX）機能の有効/無効が切り替わります（Bluetoothヘッドセットが接続中または、ユーザーメニュー「自動音声送信（VOX）」が“本体マイク”または“外部マイク”に設定されている場合）。自動音声送信（VOX）機能が有効な時は、ディスプレイ上部に“”アイコンが点灯します。

【SR810U】 MUTE（消音）

受信音をミュート（消音）することができます。もう一度短押しするとミュートを解除します。

長押し：キーロック

キーやロータリースイッチをロックすることができます。もう一度長押しするとロックを解除します。

⑦ プログラムキー2 (44ページ参照)

よく使う機能を設定して簡単に操作できます。セットメニュー「F32 プログラムキー2短」「F33 プログラムキー2長」で機能を変更できます。

工場出荷時設定：

短押し：ディスプレイ、キーの照明

ディスプレイ、[戻る]キー、[設定]キーの照明をON/OFFします。

長押し：送信出力

◎ 短押しする度に、送信出力が下記のように切り替わります。

“表示無し” (5W) → “L” (1W) → “M” (2.5W) → “表示無し” (5W) → …

◎ 各種設定を行っていると短押しすると、設定を確定します。

◎ 押しながら電源を入れると“拡張機能”画面になります。

⑧ マイク

マイクと口元の間隔は5cm位が適当で、普通の大きさの声で話します。

⑨ スピーカー

⑩ リチウムイオン電池パック

⑪ LEDインジケータ

通信モードや状態などにより点灯または点滅します。

LED インジケータの色・状態	通信（動作）状態
緑色・点滅	通信受信中
青色・点滅	秘話通信受信中
赤色・点灯	送信中
赤色・点滅	電池パックが空になったとき (LOW BATT 表示)

⑫ MIC/SP端子（81ページ参照）

スピーカーマイクなどのオプションを接続します。

⑬ フルドットディスプレイ

⑭ 設定キー

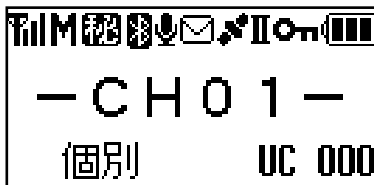
◎ “簡易設定” 画面になります。

◎ 個別通信のときに約2秒以上押すと、個別通信に関する“簡易設定”画面になります。

⑮ ノイズキャンセリングマイク

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するために設けられています。この穴は塞がないようにしてください。

フルドットディスプレイ



← アイコン表示部

← チャンネル / モード等表示部

← ユーザーコード /
個別選択呼出コード等表示部

	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時：送信出力を下記の3段階で表示します。  : High (5W 出力)  : Mid (2.5W 出力)  : Low (1 W出力)
	送信出力 送信出力を表示します。 (非表示)： High (5W 出力) (アイコンは表示されません) M： Mid (2.5W 出力) L： Low (1 W出力)
	秘話 秘話通信機能がオンのときに表示します。
	Bluetooth®（SR820U のみ） Bluetooth® 機能がオン（接続中）の時に点灯します。
	VOX VOX 機能がオンの時に点灯します。
	メッセージ メッセージ送信中 / 受信中に点灯します。
	GPS GPS 衛星を測位すると点灯します。未測位時は点滅します。
	セカンダリ PTT チャンネル セカンダリ PTT の操作が有効な時に表示します。
	キーロック 設定されたキーやロータリースイッチがロックされているときに表示します。
	電池パック残量 電池パックの残量を表示します。 電池マークとLEDインジケータが赤色に点滅した時は、直ちに充電を行ってください。  : 十分使えます  : まだ使えます  : 残りわずかです  : 空になりました  : すぐに充電して(点滅) ください

	プログラムスキャン機能が動作中に PTT を押すと、その時のチャンネルに交信相手も自動で移動する機能が ON のときに表示します。
	デュアルレシーブ デュアルレシーブ機能がオンのときに表示します。
	スキャン スキャン機能がオンのときに表示します。
	スキャンチャンネル スキャン設定されたチャンネルを選択しているときに表示します。
	プライオリティチャンネル プライオリティチャンネルに設定されたチャンネルを選択しているときに表示します。
	ユーザーコード 設定している 3 桁のユーザーコード (000 ~ 511) を表示します。
	個別呼出 個別通信の個別呼出に設定しているときに点灯します。
	グループ呼出 個別通信のグループ呼出に設定しているときに点灯します。
	一斉呼出 個別通信の一斉呼出に設定しているとき点灯します。

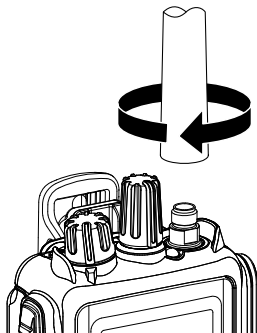
準備

アンテナの取り付け

アンテナのコネクタに近い太い部分を持ち、時計回りにしっかりと止まるまでまわします。

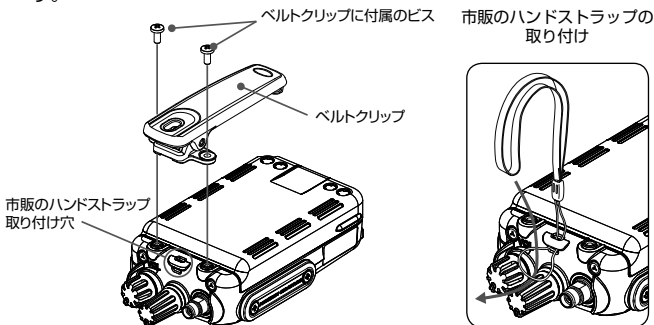
注意

- ・ アンテナの取り付け / 取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナ内部で断線して故障することがあります。
- ・ アンテナを外した状態で送信しないでください。送信回路が破損することがあります。



ベルトクリップの取り付け

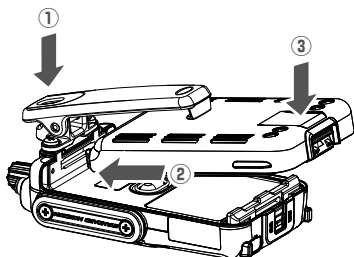
- ① ベルトクリップに付属しているビス 2 本で、ベルトクリップを取り付けます。



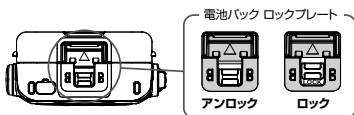
電池パックの取り付け / 取り外し

リチウムイオン電池パックを取り付ける

- ① ベルトクリップを取り付けている場合は、ベルトクリップを上げます。
- ② 電池パックの底面を押しながらスライドさせます。
- ③ 電池パックの背面を押して、「カチッ」と音がするまで確実に押します。
- ④ 無線機本体の底面にある電池パックロックプレートを「カチッ」と音がするまで確実にロックの位置にスライドさせます。

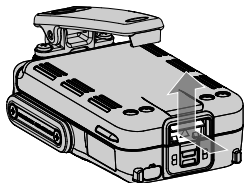


注意 電池パックロックプレートを確実にロックしていないと、落下事故や故障の原因になります。



リチウムイオン電池パックを取り外す

- ① 無線機本体の底面にある電池パックロックプレートを「カチッ」と音がするまでアンロックの位置にスライドさせます。
- ② 電池パック底面のラッチを指で摘みながら、電池パックを引き上げます。



注意

- ・ ロックやラッチを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。
- ・ ベルトクリップを取り付けている場合は上げながら、電池パックを引き上げてください。
- ・ 無線機や電池パックを落下させないように、十分に注意してください。

リチウムイオン電池パックの充電方法

オプションの急速充電器（SAD-3418B）を使用して、リチウムイオン電池パックを充電します。

リチウムイオン電池パック充電時間※

充電時間※	薄型リチウムイオン 電池パック SBR-31LI	標準型リチウムイオン 電池パック SBR-33LI	大容量リチウムイオン 電池パック SBR-34LI
	約 2 時間	約 2.5 時間	約 4 時間

※リチウムイオン電池パックを使い切った場合の充電時間の目安です。

注意

電池パックは“+5℃～+35℃”の温度範囲内で充電してください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池の性能や寿命を低下させる原因になります。

補足

リチウムイオン電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

電池パックを無線機に取り付けた状態で充電する

- ① 急速充電器（SAD-3418B）と急速充電器に付属の AC アダプターを接続します（右図参照）。
- ② 無線機の電源を切って急速充電器に挿し込みます。急速充電器の赤色のランプが点灯し、充電を開始します。

補足

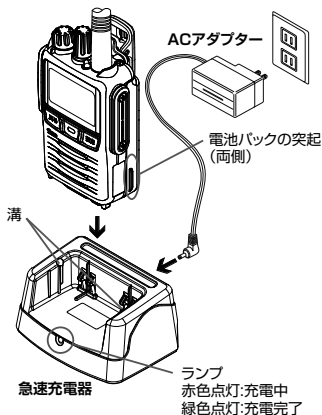
電池パックの突起を急速充電器の内側の溝にあわせて差し込みます。

- ③ 充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。

注意

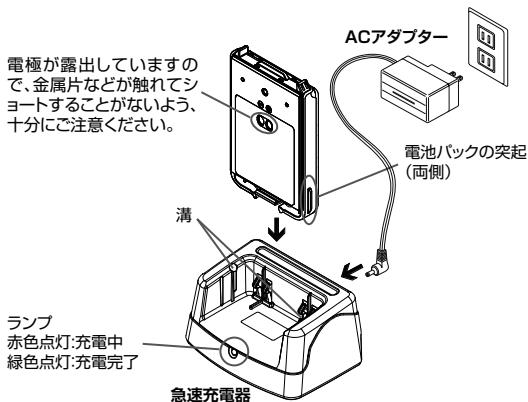
長時間充電したままにしておくと、リチウムイオン電池パックを劣化させることがあります。

- ④ 充電が完了したら無線機を急速充電器から取り外し、AC アダプターをコンセントから外してください。



電池パック単体で充電する

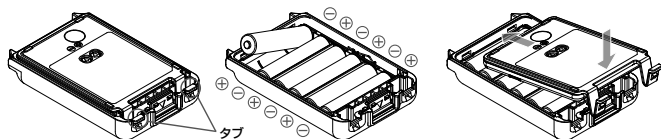
- 電池パックの突起を急速充電器の内側の溝にあわせて挿し込みます。急速充電器の赤色のランプが点灯し、充電を開始します。
- 充電が完了するとランプは赤色から緑色に変わります。



アルカリ乾電池ケース（オプション）の使いかた

オプションのアルカリ乾電池ケース（**SBT-16**）を使うと、単 4 形アルカリ乾電池 6 本を無線機の電源として使用できます。

- ① 乾電池ケース裏側のフタのタブを押して、フタを開けます。
- ② 電池の極性に注意して、単 4 形アルカリ乾電池 6 本を乾電池ケースに入れます。
- ③ フタの突起を乾電池ケース上部の穴に入るように押し当てます。
- ④ フタの下部を押して、“カチッ”と音がして両方のタブがロックするまで押します。



注意

アルカリ乾電池ケース（**SBT-16**）を使用している場合、送信出力は自動的に Low（1W）に固定され、送信出力を変更することはできません。

補足

- マンガン乾電池は使用できません。また、充電式の単 4 形電池も使用できません。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。乾電池が漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 長時間本機を使用しない場合は、乾電池ケースから乾電池を取り外してください。
- 乾電池ケースの端子や電極が汚れていると、接触不良で本機が正しく動作しなくなったり、発熱や破裂などの原因となります。端子や電極が汚れた場合は、乾いた布や綿棒で清掃してください。

電池の消耗について

電池が消耗すると、ディスプレイの電池マーク（電池残量表示）が右記のように変化します。

-  十分使えます
-  まだ使えます
-  残りわずかです
-  空になりました

ローバッテリーアラート機能

電池が空になると電池マークとLEDインジケータが赤色に点滅します。その時は、直ちに充電を行ってください。

 すぐに充電してください

電池持続時間※

電池パック / アルカリ乾電池ケース	送信出力		
	High (5W)	Mid (2.5W)	Low (1W)
薄型リチウムイオン電池パック SBR-31LI (1200mAh)	約 9 時間	約 12 時間	約 15 時間
標準型リチウムイオン電池パック SBR-33LI (1900mAh)	約 16 時間	約 21 時間	約 26 時間
大容量リチウムイオン電池パック SBR-34LI (3350mAh)	約 27 時間	約 36 時間	約 44 時間
アルカリ乾電池ケース SBT-16	—	—	約 6 時間

- ※ 電池持続時間は、送信 (5W): 受信: 待受 = 5:5:90 の割合で運用時（バッテリーセーブ機能オン、GPS オフ、Bluetooth 機能オフ）
- ※ 使用条件や周囲の温度により、使用できる時間が異なることがあります（特に寒冷地では使用時間が短くなります）。
- ※ アルカリ乾電池の製造元や種類によって、使用できる時間が大きく異なることがあります。

基本的な使いかた

① 電源を入れます。

VOL ツマミを右にまわすと、電源が入ります。

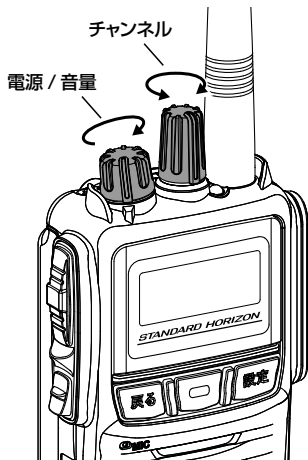
【SR820U のみ】SR820U をお買い上げ後初めて電源を入れたときには、Bluetooth の設定画面が表示されますので、クイックガイドの“Bluetooth の 設 定”（6 ページ）を参照して設定してください。

② 音量を調節します。

VOL ツマミを 10 時から 11 時の位置にあわせておきます。その後、相手の音声が聞き取りやすい音量になるように調節します。

③ チャンネルをあわせませす。

ロータリースwitchをまわして通話したい相手と同じチャンネル（CH01 ～ CH65）にあわせませす。



補足

“CH01”（または使用チャンネルに設定した最も小さい番号のチャンネル）にあわせた時に「ププ」とビープ音が鳴ります。無線機を腰につけている状態などでも表示を確認せずに、簡単にチャンネル選択をすることができます。

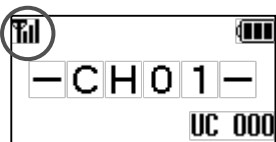
④ 送信（通話）します。

PTT（通話）ボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

- マイクと口元の間隔は 5cm 位が適当で、普通の大きさの声で話します。マイクと口元の距離が近すぎたり、声が大きかったりすると、音声が歪むことがあります。

補足

- ・送信中は“”（送信出力が“High”時）が表示され、LEDインジケータが赤色に点灯します。
- ・送信出力は“5W”、“2.5W”、“1W”に切り替えることができます（39 ページ参照）。



補足

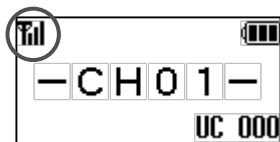
連続送信時間は5分未満と決められています。本機では送信を開始してから約4分45秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から5分が経過する前に、自動的に送信が止まります（37ページ参照）。

⑤ 相手の音声を受信します。

PTT（通話）ボタンを放すと、相手の話を聞くことができます。

補足

信号を受信するとLEDインジケータが点滅し（16ページ参照）、電波の強さに応じて、ディスプレイに「**T**」～「**Full**」が点灯します。

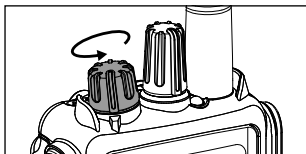


⑥ 電源を切ります。

[**VOL**] ツマミを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。

補足

一週間以上使用しない場合は、電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切って電池パックを取り外して保管してください。



キーロック機能

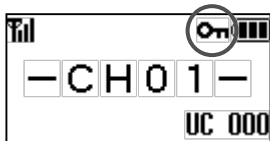
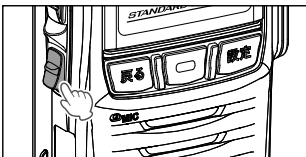
誤って各キーを押しても、設定が変わらないようにキーをロックする機能です。

- ① 本体側面の**プログラムキー 1**（工場出荷時設定）を長押しします。
- ② ディスプレイに「**On**」が点灯し、キーがロックされます。

補足

セットメニューの「F06 キーロック」（68ページ参照）でロックするキーを変更することができます。

- ③ キーロックを解除するには再度、**プログラムキー 1**を長押しします。



通信方式について

SR820U/SR810U は「UC (ユーザーコード) 通信」と「個別通信」の二通りの通信方式に対応しています。初期値 (工場出荷時設定) は UC 通信に設定されています。コールメニュー「C01 通信方式 (D)」(78 ページ参照) で、通信相手と同じ通信方式に設定してご使用ください。

- ◎ UC (ユーザーコード) 通信 (29 ページ参照)
同じチャンネルで同じユーザーコードを設定している局同士が通話できる通信方式
- ◎ 個別通信 (31 ページ参照)
同じチャンネルで同じユーザーコードを設定している局の中から、特定の相手局やグループだけを呼び出して通話できる通信方式
- ◎ CH 毎
チャンネルごとに UC (ユーザーコード) 通信、個別通信を設定することができます。

補足

“チャンネル毎” の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

設定のリセットについて

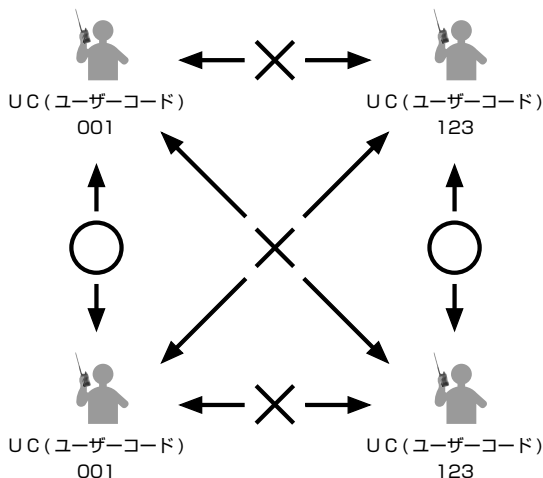
初期化メニューの「F36 設定リセット」(76 ページ参照) で、無線機の全ての設定を初期値に戻すことができます。

UC (ユーザーコード) 通信

UC通信は同じチャンネルにあわせている局で、かつ同じUC(ユーザーコード)を設定している局同士だけが通話することができる通信方式です。

UC 通信方式は、ARIB 規格で規定されており、種別コード「3B」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。

ユーザーコード通信のイメージ



◎ ユーザーコードとは

ユーザーコードは数字3桁で、“000”～“511”の中から設定することができます。

補足

- ・ユーザーコード“000”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか通信することができません。
- ・本機の UC(ユーザーコード)は、初期値では“000”に設定されています。
- ・他ユーザーとの混信を避けるため、UC(ユーザーコード)は“000”以外に設定することをお勧めします。

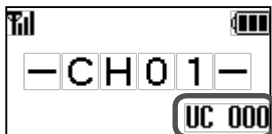
UC (ユーザーコード) 通信の設定方法

UC (ユーザーコード) 通信に使用するユーザーコードを“000”～“511”の中から設定します。ユーザーコードが異なる局とは交信することができませんので、必ず相手局と同じユーザーコードに設定してください。

補足

ディスプレイの下に“個別”“グループ”“一斉”のいずれかが表示されている場合は“個別通信”になっていますので、コールメニュー「C01 通信方式」で“UC 通信”に設定してください（78 ページ参照）。

- ① 電源を入れて、相手局と同じチャンネルにあわせます。
- ② ディスプレイ右下に表示されているユーザーコードがすべての相手局と同じになっていることを確認します。



ユーザーコードの変更の必要がない場合は、以下の③～⑨の操作は不要です。

- ③ 一度電源を切り [] キーを押しながら電源を入れて「拡張機能」画面を表示させます。
- ④ ロータリースイッチをまわして「コールメニュー」を選び、[] (選択) キーを押します。
- ⑤ ロータリースイッチをまわして「C02 UC(D)」を選び [] (選択) キーを押します。



- ユーザーコードの一番左の桁が点滅します。
- ⑥ ロータリースイッチをまわして数字を選択します。
 - ⑦ [] (決定) キーを押すと、点滅している桁が右に移動します。
手順⑥と⑦の操作を繰り返して3桁のユーザーコードを入力します。
 - ⑧ 3桁目を設定して [] (決定) キーを押すと、設定が保存されます。



- ⑨ 電源を切ります。
以上で UC 通信の設定は終了です。

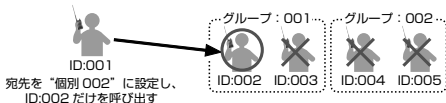
PTT (通話) ボタンを押して、同じチャンネルで同じ UC (ユーザーコード) に設定した局と通話できます。

個別通信

個別通信では特定の相手だけ呼び出すことや特定のグループに属する全員を呼び出す、また全ての局を一斉に呼び出して通話をすることができます。さらに、グループ親機に設定した局は全てのグループからの呼出を受けることができ、また、特定のグループを選択して呼び出すことができますので、全体を統括するような局に設定すると大変便利です。

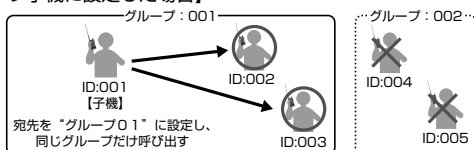
個別通信のイメージ

◎ 特定の相手だけ呼び出す（個別呼出）

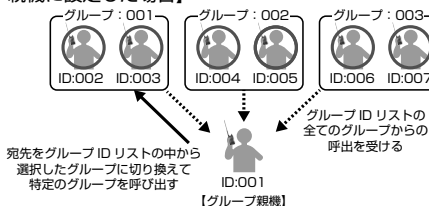


◎ 特定のグループに属する全員を呼び出す（グループ呼出）

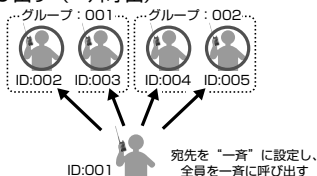
【グループ子機に設定した場合】



【グループ親機に設定した場合】



◎ 全員を一斉に呼び出す（一斉呼出）

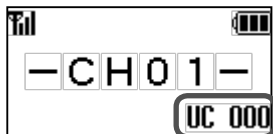


個別通信の準備

補足

ディスプレイの下に“個別”“グループ”“一斉”のいずれかが表示されていない場合は UC 通信方式になっていますので、コールメニュー「C01 通信方式」で“個別通信”に設定してください（78 ページ参照）。

- ① 電源を入れて、相手局と同じチャンネルにあわせます。
- ② ディスプレイ右下に表示されているユーザーコードがすべての相手局と同じになっていることを確認します。



ユーザーコードの変更については、“UC（ユーザーコード）通信の設定方法”（30 ページ参照）を参照してください。

補足

- ・ 本機の UC（ユーザーコード）は、工場出荷時設定では“000”です。
- ・ 他のユーザーとの混信を避けるため、UC（ユーザーコード）は“000”以外に設定することをお勧めします。

これで個別通信の準備は完了です。

個別通信の呼出方法（“個別呼出”、“グループ呼出”、“一斉呼出”）の設定については、次ページ以降を参照してください。

個別通信の呼び出し方法の設定

特定の相手呼び出す（個別呼出）

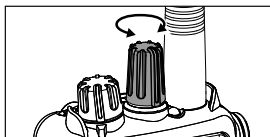
呼び出したい特定の相手局の個別 ID を設定して、個別に呼び出します。

補足

コールメニュー「C03 自局 ID (D)」で設定されている、自局 ID と同じ ID 番号を設定することはできません。

- ① [設定] キーを長押しして“宛先 ID”を表示させます。
- ② [] (選択) キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして呼び出したい相手の個別 ID を選択します。
- ④ [] (決定) キーを押すと、個別宛先 ID が確定されます。
- ⑤ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

PTT (通話) ボタンを押して、個別呼び出しをして相手局と通話できます。



補足

- ・ 相手からの応答がなく、応答待ち時間 (5 秒間) が経過すると、自動的に待機状態に戻ります。
- ・ 応答するタイミングは、応答待ち時間以内に行ってください。
- ・ 個別通信方式では、お互いに通話が終わった時からタイマーがスタートします。

特定のグループに属する全員を呼び出す（グループ呼出）

同じグループ内に属する全員を呼び出します。

グループ呼出には、下記の二つの設定があります。

グループ子機：自グループからの呼び出しを受け、自グループの呼び出しができます。

グループ親機：グループ ID リストに登録したすべてのグループ ID からの呼び出しを受け、選択した特定のグループの呼び出しができます。

補足

グループ子機、グループ親機、グループ ID リストの設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

グループ子機に設定した場合の自グループの設定

- ① 一度電源を切り[]キーを押しながら電源を入れ、拡張機能画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「コールメニュー」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして「C04グループID(D)」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして希望する“グループID”を選択し、[]（決定）キーを押すと設定が保存されます。
- ⑤ 電源を切ります。
以上でグループIDの設定は終了です。



PTT（通話）ボタンを押して、自グループを呼び出して通話できます。

グループ親機に設定した場合のグループ呼び出し設定

- ① [設定]キーを長押しして“宛先ID”を選び、[]（選択）キーを押します。
- ② ロータリースイッチをまわして呼び出したいグループIDを選びます。
- ③ []（決定）キーを押すと確定されます。
- ④ [戻る]キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。



PTT（通話）ボタンを押して、選択したグループを呼び出して通話できます。

補足

同時に複数のグループを呼び出すことはできません。

グループ着信割り込み設定について

“グループ親機”で「グループ着信割り込み」が“許可”に設定されている場合、あるグループとの通話中（通話保持時間の約 5 秒以内）であっても、他のグループからの呼び出しを受ける（割り込み）ことができます。割り込みを受けると自局のグループ呼出の宛先は、呼び出してきたグループの ID に自動で切り替わりますので、PTT（通話）ボタンを押すだけでそのグループと通話することができます。呼び出してきたグループとの通話が終了すると、自動的に最後に選択していたグループ ID に戻ります。

補足

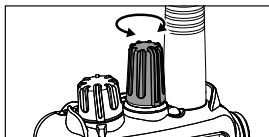
グループ着信割り込みの設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

全員を一斉に呼び出す（一斉呼出）

グループに関係なく全員を一斉（ALL）に呼び出します。

- ① [設定] キーを長押しして“宛先 ID”を選び、[>]（選択）キーを押します。
- ② ロータリースイッチをまわして“一斉”を選択します。
- ③ [>]（決定）キーを押すと確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

PTT（通話）ボタンを押して、一斉呼び出しをして相手局と通話できます。



補足

- ・相手からの応答がなく、応答待ち時間（5 秒間）が経過すると、自動的に待機状態に戻ります。
- ・応答するタイミングは、応答待ち時間以内に行ってください。
- ・個別通信方式では、お互いに通話が終わった時からタイマーがスタートします。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、相手局の ID と呼び出し方法（個別、グループ、一斉）が表示されます。

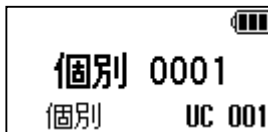
- 個別呼び出しまたはグループ呼び出しを受けた時に、すぐに応答することができなかった場合“不在着信状態”となって、相手局の ID（名前）が点滅します。
- 不在着信状態をキャンセルする場合は、[戻る]キーを押してください。

個別呼び出しを受けたとき

ディスプレイに呼び出してきた相手局の個別 ID が表示されます。受信中は LED インジケータが緑色または青色（秘話通信）に点滅します。

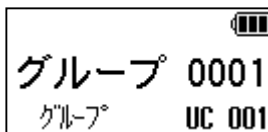
すぐに応答できなかった場合は、相手局の ID（名前）が点滅します。

応答する場合は、そのまま **PTT**（通話）ボタンを押すと相手呼び出します。



グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに呼び出してきたグループ ID が表示されます。受信中は LED インジケータが緑色または青色（秘話通信）に点滅します。

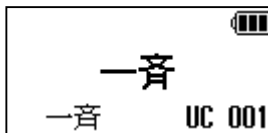


応答する場合は、そのまま **PTT**（通話）ボタンを押すとそのグループを呼び出します。

一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、一斉呼び出しを示す“一斉”が表示されます。受信中は LED インジケータが緑色または青色（秘話通信）に点滅します。

応答する場合は、そのまま **PTT**（通話）ボタンを押すと一斉呼び出しをします。



通信時に動作する機能について

通話中の「ピピピ」音（連続送信時間制限）

本機の連続送信時間は5分未満と決められています。本機では送信を開始してから約4分45秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から5分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのまま **PTT**（通話）ボタンを押し続けた場合、送信を開始してから5分間経過すると、その後1分間は送信禁止状態になります。

アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

ヒートプロテクション（高温時の保護機能）

無線機が高温になっている場合に、**PTT**（通話）ボタンを押すとディスプレイに“HEAT”と表示され、自動的に送信出力が低下します。

さらに高温になった場合に **PTT**（通話）ボタンを押すと、ディスプレイに“HEAT”と表示され、LED インジケータが消灯し、警告音を発し続け送信することができません。無線機の温度が下がってから送信してください。

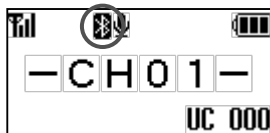
便利な機能

Bluetooth 機能 (SR820U のみ)

Bluetooth ヘッドセットを SR820U に接続して、ハンズフリーで通話ができます。

SR820U をお買い上げ後に初めて電源を入れたときは、Bluetooth の設定画面が表示されますので、6 ページの「Bluetooth の設定 (SR820U のみ)」を参照してヘッドセットを接続してください。なお、Bluetooth 機能の各種設定については 55 ページの「Bluetooth 機能 (SR820U のみ)」を参照してください。

- ① SR820U とペアリングされているヘッドセットの電源を入れると自動で接続され、ディスプレイ上部に Bluetooth アイコン  が表示されてヘッドセットを使うことができます。
- ② 側面のプログラムキー 1 を押すたびに、自動音声送信 (VOX) 機能の有効 () / 無効を切り替えることができます。



自動音声送信 (VOX) 機能を有効にすると、話すだけで送信状態になりハンズフリーで通話ができます。

- 自動音声送信 (VOX) 機能を無効にしたときは、**PTT** (通話) ボタンを押しながら通話するか、ヘッドセットの送受信切り替えボタンで送信と受信を交互に切り替えて通話をします。

送信出力設定

送信出力を High(5W)/Mid(2.5W)/Low(1W) に切り換えることができます。相手との距離が近い場合などで、送信出力を下げて電池パックの持続時間を延ばすことができます。なお、オプションのアルカリ乾電池ケース (SBT-16) を使用している場合、送信出力は自動的に Low(1W) に固定され、この設定項目は表示されません。

① [設定] キーを押して、簡易設定画面を表示させます。

② ロータリースイッチをまわして“送信出力”を選び、[] (選択) キーを押します。

③ ロータリースイッチをまわして送信出力を選択します。

High: 送信出力 5W

Mid: 送信出力 2.5W

Low: 送信出力 1W



④ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。

⑤ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

補足

プログラムキーの機能に“送信出力”を設定すると、プログラムキーを押して送信出力を変更できます。

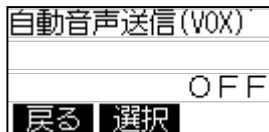
自動音声送信 (VOX) 機能

PTT (通話) ボタンを押さずに、音声により自動で無線機を送信状態にすることができます。マイクに向かって話すとき送信し、話すのを止めると待ち受け状態に戻ります。

① [設定] キーを押して、簡易設定画面を表示させます。

② ロータリースイッチをまわして“自動音声送信 (VOX)”を選び、[] (選択) キーを押します。

③ ロータリースイッチをまわして下記から設定を選択して、[] (決定) キーを押すと、自動音声送信 (VOX) が有効になります。



OFF: 自動音声送信 (VOX) 機能がオフになります。(工場出荷時設定)

本体マイク: 無線機の内蔵マイクからの音声で自動で送信します。

外部マイク: 無線機に取り付けたオプションの外部マイクからの音声で自動で送信します。

Bluetooth: 無線機に接続したオプションの Bluetooth ヘッドセットからの音声で自動で送信します (SR820U のみ)。

補足

【SR820U のみ】

自動音声送信 (VOX) が“本体マイク”または“外部マイク”に設定されている場合に、SR820U に Bluetooth ヘッドセットが接続されると、自動で Bluetooth の自動音声送信 (VOX) 機能が有効になります。

必要に応じて、自動音声送信 (VOX) の感度を設定します。

- ④ ロータリースイッチをまわして“VOX 感度”を選び、[] (選択) キーを押します。
- ⑤ ロータリースイッチをまわして VOX 感度を“レベル 01” (感度低) ～ “レベル 15” (感度高) から選択して、[] (決定) キーを押します。(工場出荷時設定は“レベル 08”)
- ⑥ [戻る] キーを押すとチャンネル表示に戻り、ディスプレイ上部に“”アイコンが表示され、自動音声送信 (VOX) が“オン”になります。



補足

- ・自動送信 (VOX) が“本体マイク”または“外部マイク”、“Bluetooth” (SR820U のみ) に設定されている場合に、プログラムキー 1 (工場出荷時設定) を押す度に、自動音声送信 (VOX) 機能の有効 / 無効が切り替わります。
- ・自動音声送信 (VOX) 機能が“ON”で送信状態の時に、自動音声送信 (VOX) 機能に設定したプログラムキーを押すと、たとえ周囲の騒音などがあっても、必ず待ち受け状態に戻ります。

セミ VOX 機能

自動音声送信 (VOX) 機能がオンのときに周囲の騒音などで不用意に送信しないようにすることができます。自動で送信状態にはならず、PTT (通話) ボタンを押すと送信状態になり、話をしている間は PTT (通話) ボタンを放しても送信を続け、話を止めると自動で待ち受け状態に戻ります。

① [設定] キーを押して、簡易設定画面を表示させます。

② ロータリースイッチをまわして「セミ VOX」を選び、[>] (選択) キーを押します。

③ ロータリースイッチをまわして“ON”または“OFF”を選択して、[>] (決定) キーを押します。(工場出荷時設定は“OFF”)



④ [戻る] キーを押すとチャンネル表示に戻ります。

補足

セミ VOX 機能が“ON”で送信状態の時に、もう一度 PTT ボタンを押すと、たとえ周囲の騒音などがあっても、必ず待ち受け状態になります。

ミュート (消音機能)

プログラムキーに“ミュート”機能を設定すると、プログラムキーを押して一時的に音量をゼロにすることができます。

補足

【SR810U のみ】工場出荷時設定でセットメニュー「F30 プログラムキー 1 短」にミュート機能が設定されています。

① ミュート機能を設定したプログラムキーを押すか、または長押しします。
ミュートを解除するには、ミュート機能を設定したプログラムキーを押すか、または長押しします。

プライオリティ CH

プライオリティ CH に設定したチャンネルは、設定されたプログラムキーを押して呼び出すことや、デュアルレシーブ機能で優先的に待ち受けできます。

補足

プライオリティチャンネルの設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

ローンワーカー（自動的に緊急モードが起動する機能）

一定時間送信（PTT）操作が行われなかった時に、あらかじめ「F07 緊急モード」で設定した緊急動作を自動的に起動することができます。

補足

ローンワーカー機能を使用するためには、あらかじめローンワーカーの動作に関する設定をする必要があります。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① あらかじめ「F07 緊急モード」で、ローンワーカー機能で動作させたい緊急モードを設定しておきます（68 ページ参照）。
- ② あらかじめセットメニューの「F30 プログラムキー 1 短」～「F33 プログラムキー 2 短」のいずれかに「ローンワーカー」機能を設定します。
- ③ ローンワーカーを設定したプログラムキーを押します。
ローンワーカー機能が動作すると、一定時間 PTT 操作が行われないと、約 30 秒前に警告音が鳴り、その後設定した緊急動作を開始します。

補足

- ・ 警告音が鳴っている最中に PTT を押すと、ローンワーカーが動作するまでのタイマーが「0」にリセットされます。
- ・ ローンワーカーが動作するまでの時間や、警告音を鳴らす時間を変更することができます。変更設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

マンダウン（無線機が一定時間傾くと緊急モードが動作する機能）

無線機が一定時間（初期値：10 秒）以上傾き続けると、ディスプレイのチャンネルが点滅し、緊急アラームが鳴ります。その後、あらかじめ設定された緊急動作を起動します。無線機を腰等に取り付けた人が倒れたりすると、何らかの事故が発生したとみなし緊急アラームで知らせる機能です。

補足

マンダウン機能を使用するためには、あらかじめマンダウンの動作に関する設定をする必要があります。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① あらかじめ「F07 緊急モード」で、マンダウン機能で動作させたい緊急モードを設定しておきます（68 ページ参照）。
- ② あらかじめセットメニューの「F30 プログラムキー 1 短」～「F33 プログラムキー 2 短」のいずれかに“マンダウン”機能を設定します。
- ③ マンダウンを設定したプログラムキーを押します。
マンダウン機能が動作すると、一定時間無線機が傾いた状態になると、設定した緊急動作を開始します。

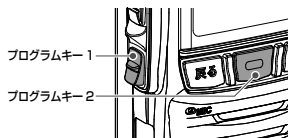
補足

- ・ アラームなどの緊急動作を停止するには、電源を OFF にします。
- ・ マンダウンが動作する角度や時間を変更することができます。変更設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

プログラムキーの機能を変更する

よく使う機能を、2つのプログラムキーの“短押し”と“長押し”のそれぞれに設定することができます。

- ① 一度電源を切り、[>]キーを押しながら電源を入れて“拡張機能”画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「セットメニュー」を選び、[>]（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして機能を設定するプログラムキーを下記の4つのメニュー項目から選び、[>]（選択）キーを押します。



メニュー項目	工場出荷時設定
F30 プログラムキー1短（短押し）	SR820U：自動音声送信（VOX） SR810U：ミュート
F31 プログラムキー1長（長押し）	キーロック
F32 プログラムキー2短（短押し）	バックライト
F33 プログラムキー2長（長押し）	送信出力

- ④ ロータリースイッチをまわして設定する機能を選び、[>]（決定）キーを押します。
- ⑤ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

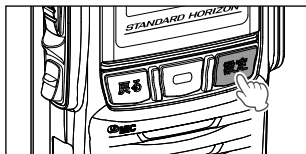
プログラムキーに設定できる機能

機能	動作
無効	機能無し
キーロック	キーやロータリースイッチがロックまたは解除されます（27ページ参照）。
バックライト	ディスプレイ、戻るキー、設定キーの照明が点灯または消灯します。
スキャン	スキャン機能（51ページ参照）の有効／無効の設定。

機能	動作
スキャンスキップ	現在のチャンネルをスキャン対象または対象外に設定します。
送信出力	送信出力が 5W → 1W → 2.5W → 5W → …と切り替わります (39 ページ参照)。
ミュート	ミュート (消音) 機能 (41 ページ参照) が有効または無効になります。
VOX	自動音声送信 (VOX) 機能 (39 ページ参照) が有効または無効になります。
セカンダリ PTT	押している間、セカンダリ CH に設定したチャンネルで送信します (60 ページ参照)。 ※: 「F30 プログラムキー 1 短」と「F32 プログラムキー 2 短」だけに設定できます。
緊急	不慮の事故などの緊急事態をアラーム音で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して知らせることができます (68 ページ参照)。 ※: 「F30 プログラムキー 1 短」と「F32 プログラムキー 2 短」だけに設定できます。
録音	ワンタッチで相手の音声を録音することができます (50 ページ参照)。
再生	リピート再生機能 (50 ページ参照) が動作します。
モニター	キーを押している間は、UC コードが異なる信号の音声も聞くことができます。
ローンワーカー	一定時間、送信 (PTT) 操作が行われなかった時に、緊急動作を自動的に起動します (42 ページ参照)。
マンダウン	本機が一定時間傾いたままになると、緊急アラームで知らせます (43 ページ参照)。
秘話	32,767 通りの秘話コードが一致する無線機どうしだけが交信することができます (49 ページ参照)。
クイックアンサー	あらかじめ録音してある音声を送信します (51 ページ参照)。
音声案内	現在のチャンネル番号を音声で読み上げます。
ワンタッチ VOL	音量ツマミをまわさずに、ワンタッチであらかじめ設定した音量にすることができます。
プライオリティ CH	あらかじめ登録してあるプライオリティチャンネルを呼び出します (41 ページ参照)。
メモリー CH	あらかじめメモリーに登録したチャンネルを呼び出します。
メモリー CH セット	現在のチャンネルをメモリーに登録します (54 ページ参照)。
リスト1スキャン	高度な設定をおこなったスキャンを行います。
リスト2スキャン	設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。
ライト禁止	ディスプレイ、[戻る] キー、[設定] キーの照明および LED インジケータの点灯を ON/OFF します。

簡易設定

チャンネル表示中に[設定]キーを押すと簡易設定画面が表示され、宛先ID、秘話機能、送信出力、自動音声送信(VOX)、Bluetoothなどの設定ができます。



無線機の設定や選択している通信チャンネルなどによって、一部の項目が表示されない場合があります。

項目	設定値 (初期値：太字)	機能	ページ
ライト禁止	許可 / 禁止	ディスプレイ、[戻る]キー、[設定]キーの照明およびLEDインジケータの点灯をON/OFFします。	49
秘話	OFF/ON	秘話機能のON/OFFを設定します。	49
秘話コード 《秘話“ON”時のみ》	OFF/ \$01 ~ \$20/ 00001 ~ 32767	秘話コードを設定します。	49
リピート再生	—	自動で録音されている相手局の音声を再生します。	50
録音メモ	—	録音された音声の再生 / 消去	50
クイックアンサー	—	音声メッセージを再生 / 消去	51
スキャン	OFF/ON	UCコードが一致する信号を待ち受けすることができます。	51
スキャンタイプ	プログラム1 / プログラム2 / デュアルレシーブ	スキャン機能動作時のスキャン方式を設定します。	52
スキャンCH	—	スキャンタイプの“プログラム1”および“プログラム2”のそれぞれに、スキャンしたいチャンネルを登録します。	52

項 目	設定値 (初期値：太字)	機 能	ページ
RX イコライザー	OFF / 低域強調 / 高域強調 / 中域強調 / 低高域強調	受信音の音質設定	52
TX イコライザー	OFF / 低域強調 / 高域強調 / 中域強調 / 低高域強調	送信音の音質設定	53
ノイズキャンセル	ON /OFF	明瞭な音声を送信するノイズ キャンセル機能の ON/OFF を設定します。	53
送信出力	H /M/L	送信出力を設定します。 H(5W)/M(2.5W)/L(1W)	53
自動音声送信 (VOX)	OFF / 本体マイ ク / 外部マイク / Bluetooth ^{※1}	自動音声送信 (VOX) を設定 します。	39
セミ VOX 《自動音声送信“ON”時のみ》	OFF /ON	セミ VOX 機能を設定します。	53
VOX 感度 《自動音声送信“ON”時のみ》	レベル 01 ～ 08 ～レベル 15	自動音声送信 (VOX) の感度 を設定します。	53
メイン画面	標準 / 大 / 特大 / 詳細	チャンネル表示画面の文字の 大きさや表示内容を設定しま す。	54
メモリーチャンネル	—	よく使用するチャンネルを、 5 チャンネル登録し、後から 簡単に呼び出すことができま す。	54
Bluetooth 機能 ^{※1}	—	Bluetooth 機能を ON/OFF します	55
Bluetooth 機器検索 ^{※2}	—	Bluetooth ヘッドセットを 検索して接続します	55
Bluetooth 登録機器一覧 ^{※2}	—	登録済の Bluetooth ヘッド セットを接続します	55
Bluetooth 登録機器削除 ^{※2}	—	登録済の Bluetooth ヘッド セットを削除します	56
Bluetooth マイク感度 ^{※2}	-18 ～ -1 /0/ +1 ～ +18	Bluetooth のマイク感度を 調節します	56

項 目	設定値 (初期値：太字)	機 能	ページ
Bluetooth セーブ※2	ON/OFF	Bluetooth ヘッドセットのバッテリー消費を少なくします	56
Bluetooth 初期化※2	—	Bluetooth の設定だけを初期化します。	57
自局情報	—	UC、個別 ID、グループ ID を表示します。	57
無線機情報	—	現在使用しているチャンネルの周波数を表示します。	57
以下の項目は、個別通信時のみ設定することができます。			
宛先 ID	—	個別通信時に呼び出す相手を指定します。	58
アンサーバック	—	宛先 ID の相手局と通信が可能かどうかを確認するアンサーバック機能を使用します	58
着信履歴	—	自局が以前に受信した宛先 ID の履歴を 10 件まで表示します。また、PTT ボタンを押して呼び返すことができます。	58
発信履歴	—	自局が以前に送信した宛先 ID の履歴を 10 件まで表示します。また、PTT ボタンを押して再度呼び出すことができます。	58
メッセージ送信	—	あらかじめ登録されたメッセージ（最大 10 件）の送信機能	58
メッセージ確認	—	受信したメッセージの履歴を 10 件まで表示します。	59
リモート制御	—	指定した無線機に対し、リモート制御することができます。	59

※ 1：Bluetooth は SR820U のみ

※ 2：Bluetooth “ON” 時のみ

ライト禁止

ディスプレイ、[戻る]キー、[設定]キーの照明およびLEDインジケータの点灯をON/OFFします。

- ① [設定]キー ➡ 「ライト禁止」を選択 ➡ []キー
- ② ロータリースイッチをまわして“許可”(初期値) / “禁止”を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る]キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

秘話通信機能

32,767通りの秘話コードが一致する無線機どうしだけが交信することができる機能です。

秘話機能を利用するには秘話コードの設定が必要です。販売店で20個分の秘話コードをあらかじめ設定することができますが、ご希望の秘話コードを設定することもできます。秘話の通信を受信しているときは、LEDインジケータが“青色”で点滅します。

- ① [設定]キー ➡ 「秘話」を選択 ➡ []キー
- ② ロータリースイッチをまわして“ON” / “OFF”(初期値)を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ 続けてロータリースイッチをまわして「秘話コード」を選択し [] (選択) キーを押します。
- ⑤ ロータリースイッチをまわして“\$01”～“\$20”(あらかじめ販売店で設定した秘話コード)または“コード入力”を選択します。
- ⑥ [] (決定) キーを押します。
“\$01”～“\$20”を選択した場合は手順⑩に進みます。
- ⑦ “コード入力”を選択した場合は、ロータリースイッチをまわして秘話コードの数字を選択します。
秘話コードは“00001”～“32767”の範囲で設定できます。
- ⑧ [] (決定) キーを押すと、秘話コードの点滅している桁が右に移動します。
手順⑦と⑧の操作を繰り返して5桁のコード入力します。
- ⑨ 5桁目を設定して [] (決定) キーを押すと、秘話コードが確定されます。
- ⑩ [戻る]キーを押すと、チャンネル表示に戻り、ディスプレイ上側に“”が表示され、秘話機能が“オン”になります。

リピート再生機能

無線機の電源を入れると、自動的に受信した音声を録音する機能が動作します。通話内容を聞き逃した時などに、内容を確認することができます。

- ① [設定] キー ➡ 「リピート再生」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして再生したい件名（1 件前～5 件前）選択します。
- ③ []（再生）キーを押すと、録音内容を再生します。

補足

- ・最大 5 件まで録音できます。
- ・5 件を超えて録音すると、古い方から順番に上書きされます。

注意

電源を切ると、録音された内容は全て消去されます。

録音メモ機能

プログラムキーを押して相手の音声を録音することができます。リピート再生機能と違い電源を切っても録音内容を維持するため、後で繰り返し内容を確認することができます。

録音のしかた

- ① 録音機能を設定したプログラムキーを押します（または長押し）。
- ② “REC” が表示され録音待機状態になります。
信号を受信すると自動で録音を開始し、信号が無くなると自動で録音を停止します。

補足

録音件数が 10 件になるか、全体の録音時間の合計が 60 秒になるまで録音できます。

再生のしかた

- ① [設定] キー ➡ 「録音メモ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして再生したい件名（1 ～ 10）選択します。
- ③ []（再生）キーを押すと、録音内容を再生します。

補足

- ・再生中に []（停止）キーを押すと、再生を中止します。
- ・ロータリースイッチをまわして“全消去”を選択して []（実行）キーを押すと、録音された内容は全件消去されます。

クイックアンサー機能

クイックアンサーは、音声を発して応答できないような状況のときに使用する機能です。例としてあらかじめ「了解しました。後程応答します。」などの音声を録音しておき、プログラムキーを押すと録音したメッセージが送信されます。

録音のしかた

① [設定] キー ➡ 「クイックアンサー」を選択 ➡ [] キー

② [] (実行) キーを押します。

“録音中”と表示され録音を開始しますので、マイクに向かって録音したい内容を話します。

録音中に [] (実行) キーを押すと、録音を停止します。

補足

録音時間は最大 30 秒で、録音件数は 1 件です。

録音内容の送信のしかた

① クイックアンサー機能を設定したプログラムキーを押します（または長押し）。

録音してある内容が送信されます。

スキャン機能

セットメニュー「F25 スキャンタイプ」で設定したチャンネルをスキャンして、UCコードが一致する信号を待ち受けすることができます。

① [設定] キー ➡ 「スキャン」を選択 ➡ [] キー

② ロータリースイッチをまわして“ON”を選択します。

③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。

④ [戻る] キーを押すとチャンネル表示に戻り、ディスプレイ左側に “S” アイコンが表示され、スキャン機能が有効になります。

スキャン機能は一度電源を切り入れ直しても、動作を継続します。スキャン機能を無効にするには、手順2で“OFF”を選択します。

補足

プログラムキーの機能に“スキャン”を設定すると、プログラムキーを押してスキャン機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

スキャンタイプ

スキャン機能動作時のスキャン方式を設定します。

- ① [設定] キー ➡ 「スキャンタイプ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわしてスキャン方式を選択します。
プログラム 1 / 2 : スキャンしたい複数のチャンネル（スキャンチャンネル）をあらかじめ設定し、スキャンチャンネルと通話チャンネルを自動的に切り替えてモニターしながら待ち受けします。
デュアルレシーブ : 現在の通話チャンネルと事前に設定しておいた一つのチャンネル（プライオリティチャンネル）を自動的に切り替えモニターしながら待ち受けします。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

スキャン CH

スキャンタイプの“プログラム 1” および “プログラム 2” のそれぞれに、スキャンしたいチャンネルを登録します。

- ① あらかじめ「スキャンタイプ」で、チャンネルを登録したいプログラム“プログラム 1”または“プログラム 2”を選択しておきます。
- ② [設定] キー ➡ 「スキャン CH」を選択 ➡ [] キー
- ③ ロータリースイッチをまわして登録したいチャンネルを選択します。
CH01 ~ CH65 の任意のチャンネルまたは、全チャンネルを選択できます。
- ④ [] (決定) キーを押し、ロータリースイッチをまわして“ON”を選びます。
- ⑤ [] (決定) キーを押します。
- ⑥ 手順③～⑤を繰り返して、登録したい全てのチャンネルの設定を“ON”にします。
- ⑦ [戻る] キーを 2 回押すと、チャンネル表示に戻ります。
スキャン登録されたチャンネルでは、ディスプレイ左側に “” アイコンが表示されます。

RX イコライザー機能

受信音を好みの音質に変更することができます。

- ① [設定] キー ➡ 「RX イコライザー」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望の音質を選択します（初期値 “OFF”）。
OFF / 低域強調 / 高域強調 / 中域強調 / 低高域強調
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

TX イコライザー機能

送信音を好みの音質に変更することができます。

- ① [設定] キー ➡ 「TX イコライザー」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望の音質を選択します（初期値 “OFF”）。

OFF / 低域強調 / 高域強調 / 中域強調 / 低高域強調

- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

ノイズキャンセル機能

送信時に周辺の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信するノイズキャンセル機能のオン/オフを設定します。

- ① [設定] キー ➡ 「ノイズキャンセル」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON”（初期値） / “OFF” を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

送信出力

39 ページの「送信出力設定」を参照してください。

自動音声送信 (VOX)

39 ページの「自動音声送信 (VOX) 機能」を参照してください。

セミ VOX

41 ページの「セミ VOX 機能」を参照してください。

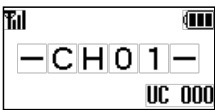
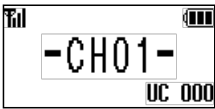
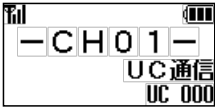
VOX 感度

39 ページの「自動音声送信 (VOX) 機能」を参照してください。

メイン画面

チャンネル表示画面の表示方法を選択できます。

- ① [設定] キー ➡ 「メイン画面」を選択 ➡ [OK] キー
- ② ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します（初期値“標準”）。

標準	
大	
特大	
詳細	

- ③ [OK] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

メモリーチャンネル

よく使用するチャンネルをあらかじめ登録（最大 5 チャンネル分）しておくことで、あとから簡単に呼び出すことができます。

- ① [設定] キー ➡ 「メモリーチャンネル」を選択 ➡ [OK] キー
- ② ロータリースイッチをまわして登録したいメモリーチャンネル番号(1～5)を選びます。
- ③ [OK] (選択) キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして登録したいチャンネル (CH01～CH65)を選びます。
- ⑤ [OK] (決定) キーを押します。
- ⑥ [戻る] キーを 2 回押すと、チャンネル表示に戻ります。

Bluetooth 機能 (SR820U のみ)

38 ページの「Bluetooth 機能 (SR820U のみ)」も併せて参照してください。

SR820U の Bluetooth 機能を設定します。ヘッドセットの検索、登録のほか、登録済ヘッドセット一覧や削除、マイク感度、セーブ機能、設定の初期化などができます。

Bluetooth 機能の ON/OFF

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして“ON” / “OFF” (初期値) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。
- ④ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

Bluetooth 機器検索 (Bluetooth 機能が“ON”時のみ)

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「機器検索」を選択します。
- ③ [] (実行) キーを押します。
Bluetooth ヘッドセットの検索が始まります。
- ④ 接続する Bluetooth ヘッドセットを操作して、ペアリングモードにします。
Bluetooth ヘッドセットが見つかったら、Bluetooth ヘッドセットの名称と接続確認画面が表示されます。
- ⑤ 表示されたヘッドセットと接続する場合は、[] (選択) キーを押します。
- ⑥ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

補足

- ・合計 8 台までの Bluetooth 機器を登録できますが、本製品と Bluetooth 機器を 1 対 1 の組み合わせで設定されることをおすすめします。
- ・2019 年 10 月現在、動作の保証をしている Bluetooth 機器は、SSM-BT10 です。

Bluetooth 登録機器一覧 (Bluetooth 機能が“ON”時のみ)

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「登録機器一覧」を選択します。
- ③ [] (実行) キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして接続するヘッドセットを選び、[] (決定) キーを押します。

SR820U と Bluetooth ヘッドセットが接続されると、ディスプレイ上部に Bluetooth アイコン  が表示されヘッドセットを使うことができます。

補足

Bluetooth ヘッドセットで自動音声送信 (VOX) 機能を使うには、「自動音声送信 (VOX)」(39 ページ参照) の設定を“Bluetooth”にします。

Bluetooth 登録機器削除 (Bluetooth 機能が“ON”時のみ)

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「登録機器削除」を選択します。
- ③ [] (実行) キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして登録を削除するヘッドセットを選択して [] (削除) キーを押します。
- ⑤ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

Bluetooth のマイク感度を調節する (Bluetooth 機能が“ON”時のみ)

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「マイク感度」を選択します。
- ③ [] (選択) キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわしてヘッドセットからの音声のマイク感度を調節 (“-18” ~ “+18”、工場出荷時設定は“0”) して [] (選択) キーを押します。
- ⑤ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

Bluetooth のセーブ機能を設定する (Bluetooth 機能が“ON”時のみ)

Bluetooth ヘッドセットのバッテリー消費を少なくすることができます。

注意

Bluetooth の自動音声送信 (VOX) 機能が有効になっている場合は、セーブ機能を“ON”に設定しても、セーブ機能は動作しません。

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「セーブ」を選択します。
- ③ [] (選択) キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして“ON”または“OFF”を選び、[] (選択) キーを押します。(工場出荷時設定は“OFF”)
- ⑤ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

補足

- ・セーブ機能は、約5秒間ヘッドセットの操作や送受信をしなかった場合に、ヘッドセットを一時的に休止状態にしてバッテリーの消費を減らす機能です。休止状態中にヘッドセットの操作や送受信を行うと休止状態は解除されます。
- ・休止状態中に送信する場合は、送受信切り替えボタンを押してから音声を送られるまでに若干の時間を要するため、送受信切り替えボタンを押した後一呼吸おいてから話を始めてください。

Bluetooth の設定初期化 (Bluetooth 機能が “ON” 時のみ)

Bluetooth に関する設定を初期化します。

- ① [設定] キー ➡ 「Bluetooth」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして「初期化」を選択します。
- ③ [] (実行) キーを押します。
- ④ 確認画面が表示されますので、ロータリースイッチをまわして “YES” を選択します。
初期化を中止するときは “NO” を選択して [] キーを押します。
- ⑤ [] キーを押します。
- ⑥ Bluetooth の設定が初期化されます。
- ⑦ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

自局情報

無線機に設定してある UC (ユーザーコード)、個別 ID、グループ ID、現在地の緯度経度^{*}、日時^{*}を表示させて確認することができます。

※：GPS を測位している場合。

補足

GPS の ON/OFF に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① [設定] キー ➡ 「自局情報」を選択 ➡ [] キー
- ② UC (ユーザーコード)、個別 ID、グループ ID が表示されます。
- ③ [] キーを押すと、現在地の緯度経度、日時の表示に変わります。
[] キーを押すたびに表示が切り替わります。
- ④ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

無線機情報

現在設定してあるチャンネルの周波数を表示させることができます。

- ① [設定] キー ➡ 「無線機情報」を選択 ➡ [] キー
- ② 周波数が表示されます。
- ③ [戻る] キーを2回押すと、チャンネル表示に戻ります。

宛先 ID（個別通信のみ）

33 ページの「特定の相手呼び出す（個別呼出）」を参照してください。

アンサーバック（個別通信のみ）

個別通信時に宛先が個別 ID に設定している場合に、宛先 ID の相手局と通信ができるかどうかを確認することができます。

- ① [設定] キーを長押しして簡易設定画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「アンサーバック」を選び、（実行）キーを押します。
“問い合わせ中”が表示され、無線機が自動で問合せ信号を送信して通信が可能かどうかを確認します。



- ③ 相手局との通信が可能かどうかを画面に表示します。

応有：【交信可能】相手局からの確認信号を受信したとき。

応無：【交信不可】相手局からの確認信号を受信できないとき。

- ④ PTT（通話）ボタンを押して相手局と通信するか、[戻る] キーを 2 回押して周波数画面に戻ります。

着信履歴 / 発信履歴（個別通信のみ）

個別通信時に呼び出した相手局や、呼び出してきた相手局の ID の履歴をそれぞれ 10 件まで確認できます。

- ① [設定] キーを長押しして、簡易設定画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「着信履歴」または「発信履歴」を選び、（選択）キーを押します。
- ③ 着信履歴または発信履歴が表示されます。
- ④ ロータリースイッチをまわして履歴を選択することができます。
- ⑤ PTT ボタンを押すと表示している履歴の個別 ID を呼び出すことができます。

メッセージ送信（個別通信のみ）

あらかじめ登録されているメッセージ（最大 10 件）を送信することができます。

- ① メッセージを送りたい相手を指定します（33 ページ参照）。
- ② [設定] キー（長押し） ➡ 「メッセージ送信」を選択 ➡  キー
- ③ ロータリースイッチをまわして、送信したいメッセージを選びます。
- ④ （送信）キーを押すと、メッセージが送信されます。

相手局に正しくメッセージが送信完了すると、宛先と“応有”が表示されます。

特定の相手だけ呼び出す個別呼び出しでは、電波が届かない、電源が切れている等で相手にメッセージが届かない場合は“応無”を表示します。

- ⑤ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

補足

メッセージ内容の変更や追加に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

メッセージ確認（個別通信のみ）

受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

- ① [設定] キー（長押し） ➡ 「メッセージ確認」を選択 ➡ [] キー
② ロータリースイッチをまわして、確認したいメッセージを選びます。

補足

メッセージを削除したい場合は、削除したいメッセージを選択後、[]（選択）キーを押し、[]（削除）キーを押します。

- ③ [戻る] キーを 2 回押すと、チャンネル表示に戻ります。

リモート制御（個別通信のみ）

指定した無線機に対し、下表の操作をすることができます。

- ① リモート制御したい相手を指定します（33 ページ参照）。
② [設定] キー（長押し） ➡ 「リモート制御」を選択 ➡ [] キー
③ ロータリースイッチをまわして、機能を選びます。

機能	動作
モニター	指定した無線機の周辺の音を聞くことができます。
ロック	指定した無線機を操作できないようにロックします。
パスワードロック	指定した無線機を操作できないようにロックします。 ロックされた無線機は、あらかじめ決めておいたパスワードを入力することで、ロックを解除できます。
ロック解除	“ロック” “パスワードロック” を解除します。
アラーム ON	指定した無線機のスピーカーから、アラームを鳴らします。
アラーム OFF	鳴らしたアラームを停止します。

- ④ []（実行）キーを押すと、指定した無線機に対し、制御動作を行います。
正しく制御操作が行われると、宛先と“応答あり”が表示されます。
電波が届かない、電源が切れている等で制御できなかった場合は“応答無し”を表示します。
⑤ [戻る] キーを押すと、チャンネル表示に戻ります。

セカンダリ PTT 機能

プログラムキーに“セカンダリ PTT”機能を設定すると、プログラムキーを押すとあらかじめセカンダリチャンネルに設定したチャンネルで送信することができます。

補足

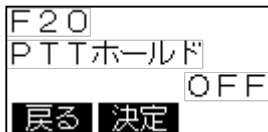
- ・セカンダリ PTT 機能は、スキャン中のみ使用することができます。
- ・セカンダリ PTT 機能を使用するためには、あらかじめ送信したいセカンダリチャンネルを設定する必要があります。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① あらかじめセットメニューの「F30 プログラムキー 1 短」または～「F32 プログラムキー 2 短」のどちらかに“セカンダリ PTT”機能を設定します。
セカンダリ PTT 機能が有効なときは、ディスプレイに“Ⅱ”アイコンが表示されます。
- ② “セカンダリ PTT”機能を設定したプログラムキーを押している間、セカンダリチャンネルに設定したチャンネルに切り替わり送信します。

PTT ホールド機能

PTT（通話）ボタンおよびセカンダリ PTT を、一度押すと放しても送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻る動作に変更することができます。

- ① 一度電源を切り [] キーを押しながら電源を入れて“拡張機能”画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「セットメニュー」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして「F20 PTT ホールド」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして“ON”を選び、[]（決定）キーを押します。
（工場出荷時設定は“OFF”）
- ⑤ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。



UC ベル機能（UC 通信のみ）

UC 通信時に UC（ユーザーコード）が一致する相手局からの呼び出しを受けた場合に、ビープ音（1～3 回）を鳴らして知らせる機能です。

- ① 一度電源を切り [] キーを押しながら電源を入れて“拡張機能”画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「コールメニュー」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして「C05 UCベル」を選び、[]（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして“0 回”～“3 回”を選び、[]（選択）キーを押します。（工場出荷時設定は“0 回”）
- ⑤ ロータリースイッチをまわして、ビープ音タイプ“A”～“M”を選び、[]（選択）キーを押します。（工場出荷時設定は“A”）
- ⑥ ロータリースイッチをまわして、バイブレータの“ON” / “OFF”を選び、[]（決定）キーを押します。（工場出荷時設定は“OFF”）
- ⑦ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。



個別ベル / グループベル（個別通信のみ）

個別通信時に個別 ID またはグループ ID が一致する相手局からの呼び出しを受信したときにビープ音（1 ～ 3 回）を鳴らすことができます。

- ① 一度電源を切り、 キーを押しながら電源を入れて“拡張機能”画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「コールメニュー」を選び、（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして「C06 個別ベル」または「C07 グループベル」を選び、（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして“0 回”～“3 回”を選び、（選択）キーを押します。（工場出荷時設定は、個別ベル“1 回”、グループベル“0 回”）

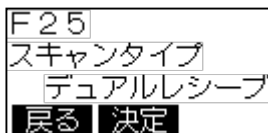


- ロータリースイッチをまわして、ビープ音タイプ“A”～“M”を選び、（選択）キーを押します。（工場出荷時設定は、個別ベル“B”、グループベル“A”）
- ⑤ ロータリースイッチをまわして、バイブレータの“ON” / “OFF”を選び、（決定）キーを押します。（工場出荷時設定は“OFF”）
 - ⑥ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

デュアルレシーブ機能

現在表示中のチャンネルを受信しながら、あらかじめ登録してあるプライオリティチャンネルで、UCコードが一致する信号を優先的に待ち受けすることができます。

- ① 一度電源を切り、[>]キーを押しながら電源を入れて“拡張機能”画面を表示させます。
- ② ロータリースイッチをまわして「セットメニュー」を選び、[>]（選択）キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして「F25 スキャンタイプ」を選び、[>]（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして“デュアルレシーブ”を選び、[>]（決定）キーを押します。



- ⑤ 一度電源を切り、再び電源を入れます。
- ⑥ プログラムキーに“スキャン”が設定されている場合は、設定されているキーを操作します。または、[設定]キーを押して“スキャン”の設定をONにすると、ディスプレイ左側に“”アイコンが表示され、デュアルレシーブ機能が有効になります。
デュアルレシーブ機能は一度電源を切り入れ直しても、動作を継続します。デュアルレシーブ機能を無効にするには、上記の手順を繰り返し、手順④で“デュアルレシーブ”以外に設定します。

補足

プライオリティチャンネルでUCコードが一致した信号を受信している間は、プライオリティチャンネルだけを受信し、他のチャンネルの受信は行いません。

プライオリティ CH スキャン機能

スキャン動作を行いながら、同時にプライオリティチャンネルでUCコードが一致する信号を優先的に待ち受けすることができます。

51 ページの「スキャン機能」の操作でスキャンを開始すると、プライオリティ CH スキャン機能が有効になります。

補足

- ・ プライオリティ CH スキャン機能を使用するためには、あらかじめスキャンタイプにプライオリティ CH スキャンの設定をする必要があります。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ プライオリティチャンネルでUCコードが一致した信号を受信している間は、プライオリティチャンネルだけを受信し、他のチャンネルの受信は行いません。

拡張機能

拡張機能には“セットメニュー”（65 ページ参照）と“コールメニュー”（77 ページ参照）があり、無線機の各種設定、通信関係の設定などを行うことができます。

機能拡張メニューの基本的な操作方法

機能拡張メニューの基本的な操作方法について説明します。

- ① 機能拡張メニューを表示させます。

[



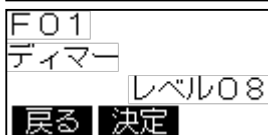
- ② 設定するメニューを選択します。

ロータリースイッチをまわして設定するメニューを選択して、[



- ③ 設定項目を選択します。

ロータリースイッチをまわして設定する項目を選択して [設定値が点滅して表示されます。



- ④ 設定値を変更します。

ロータリースイッチをまわして設定値を変更します。設定について詳しくは、各項目を参照してください。

※ [戻る] キーを押すと変更をキャンセルして 1 つ前の画面に戻ります。

- ⑤ 設定値を確定します。

[

- ⑥ 設定メニューを終了します。

電源を切って再び電源を入るとチャンネル表示に戻ります。

セットメニュー

セットメニューでは無線機の各種設定ができます。

項 目	設定値 (初期値 : 太字)	機 能
F01 ディマー	レベル 00 ~ 08 ~ 15	バックライトの輝度
F02 コントラスト	レベル 00 ~ 08 ~ 15	表示のコントラスト
F03 ビープレベル	連動 (-8 ~ ± 0 ~ +7) / 固定 (レベル 00 ~ 08 ~ 15 / OFF	ビープ音量設定
F04 外部マイク感度	-18dB ~ 0dB ~ +10dB	外部マイクの感度設定
F05 内部マイク感度	-18dB ~ 0dB ~ +10dB	内蔵マイクの感度設定
F06 キーロック	ALL / PTT / ロータリー / キー / PTT 以外	ロックするキーの設定
F07 緊急モード	OFF / アラーム / 送信 / アラーム + 送信 / サイレント	緊急モード時の動作設定
F08 TX ビープ	OFF / ON	送信開始ビープ設定
F09 RX ビープ	OFF / ON	相手局の送信終了ビープ
F10 送信出力制限	High 許可 / Mid 許可 / Low 固定 / 受信専用	最大送信出力の設定
F11 弱電界アラーム	OFF / ON	受信信号が弱い場合の アラーム設定
F12 不在着信ベル	OFF / 5 秒毎 × 2 回 / 2 秒毎 / 1 分毎 / 連続	個別着信時に応答しな かった場合に鳴るベル の設定
F13 アンサーバック	OFF / ON	相手局に電波が届いて いるかを確認する機能 の設定
F14 電池アラーム	OFF / ON	電池残量が少ない場合 のアラーム設定
F15 CH ガイダンス	OFF / 連動 / 固定	チャンネルの音声案内
F16 クイックアンサー	OFF / ON	音声メッセージ送信機 能の設定
F17 ACC 電源	OFF / ON	側面の MIC/SP 端子に 接続したオプションへ の 5V 電源供給の設定
F18 GPS モード	OFF / 定期送信 / 通話時送信 / 定期送信 + 通話時送信	自局の位置情報を送出 するタイミングの設定

項 目	設定値（初期値：太字）	機 能
F19 オーディオ出力	本体 / スピーカーマイク / イヤホン	オーディオの出力先設定
F20 PTT ホールド	OFF/ON	PTT ホールドの設定
F21 ワンタッチ VOL	レベル 00 ～レベル 31	ワンタッチボリューム設定キー操作時の音量の設定
F22 CH 空き通知	OFF/ON	チャンネル空き通知の設定
F23 セミ VOX	OFF/ON	PTT 短押しで送信開始、音声入力がなくなると送信終了する機能の設定
F24 VOX 送信保持時間	OFF/0.2 秒～ 1 秒 ～ 3 秒	VOX 送信状態から受信状態に戻るまでの遅延時間設定
F25 スキャンタイプ	プログラム 1/ プログラム 2 デュアルレシーブ	スキャン方式の設定
F26 スキャン PTT	ポジション CH/ プライオリティ CH/ 最終通話チャンネル /AUTO	スキャン機能動作中の送信チャンネル設定
F27 スキャン RX	スキャン続行 / スキャン終了	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定
F28 バッテリーセーブ	OFF/ON	間欠受信機能の設定
F29 自動電源 OFF	OFF/1 時間～ 8 時間	電源切り忘れ防止機能の設定
F30 プログラムキー 1 短	設定できる項目と初期値に関しては、44 ページの「プログラムキーの機能を変更する」を参照してください。	プログラムキー 1 またはプログラムキー 2 を押したときの機能、長押ししたときの機能設定
F31 プログラムキー 1 長		
F32 プログラムキー 2 短		
F33 プログラムキー 2 長		
F34 Mandown0 度設定	—	現在の無線機の傾きを 0 度に設定
F35 履歴リセット	—	着信、発信、メッセージ履歴の消去
F36 設定リセット	—	無線機のすべての設定の初期化。

F01 ディマー

ディスプレイとキーのバックライトの明るさを調節します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F01 ディマー」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわしてバックライトの明るさ（レベル 00 ～ 15（初期値 08））を調節します。
- ③ []（決定）キーを押します。

F02 コントラスト

ディスプレイ表示のコントラストを調節します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F02 コントラスト」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして表示のコントラスト（レベル 00 ～ 15（初期値 08））を調節します。
- ③ []（決定）キーを押します。

F03 ビープレベル

ビープ音の音量を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F03 ビープレベル」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして設定するビープを選択して、（選択）キーを押します。

キービープ	キーを押したとき、ロータリースイッチをまわしたときのビープ音
起動ビープ	電源を入れたときのビープ音
通知ビープ	着信音のビープ音
警告ビープ	動作エラー時のビープ音

- ③ ロータリースイッチをまわして動作を選び （決定）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわして音量レベルを設定し （決定）キーを押します。

連動	-8 ～ +7（初期値 ± 0 ）	VOL ツマミに連動して、ビープ音の音量が変わります。レベルを変えることにより、連動するビープ音の音量を変えることができます。
固定	00 ～ 15（初期値 8 ）	VOL ツマミの位置に関係なく、設定した音量でビープ音が鳴ります。
OFF	—	ビープ音は鳴らなくなります。

- ⑤ []（戻る）キーを押します。

F04 外部マイク感度

MIC/SP 端子に接続した外部マイクの感度を調節します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F04 外部マイク感度」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして外部マイクの感度 (-18dB ~ +10dB (初期値 0dB)) を調節します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F05 内部マイク感度

無線機に内蔵しているマイクの感度を調節します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F05 内部マイク感度」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして内部マイクの感度 (-18dB ~ +10dB (初期値 0dB)) を調節します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F06 キーロック

キーロック時にロックするキーやロータリースイッチを選択することができます。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F06 キーロック」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわしてロックするキーなどを選択します。

ALL (初期値)	キーロックに設定したプログラムキー操作以外すべて
PTT	PTT ボタン (セカンダリ PTT を含む) のみ
ロータリー	ロータリースイッチのみ
キー	キーロックに設定したプログラムキー操作以外のキー
PTT 以外	PTT ボタン以外のキーとロータリースイッチ

- ③ [] (決定) キーを押します。

F07 緊急モード

緊急、ローンワーカー、マンダウンが動作した時の緊急動作を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F07 緊急モード」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして緊急モードの動作を選択します。

OFF (初期値)	緊急動作は動作しません
アラーム	アラーム音が鳴ります
ID 送信	自局の個別 ID を送信します
アラーム + ID 送信	アラーム音が鳴り、自局の個別 ID を送信します
サイレント	画面の表示を変えず、音も鳴らさずに緊急送信をします

- ③ [] (決定) キーを押します。

F08 TX ビープ

自局の送信開始時に鳴るビープ音を ON/OFF します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F08 TX ビープ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” (初期値) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

※ Bluetooth ヘッドセットで自動音声送信 (VOX) 機能が有効な場合、TX ビープの設定が “OFF” でも、送信状態になったときに常にビープ音が鳴ります

F09 RX ビープ

相手局の送信終了を知らせるビープ音を ON/OFF します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F09 RX ビープ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” (初期値) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F10 送信出力制限

選択できる最大送信出力を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F10 送信出力制限」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして制限したい送信出力を選択します。

High 許可 (初期値)	選択できる最大送信出力は、High パワー (5W) までになります
Mid 許可	選択できる最大送信出力は、Mid パワー (2.5W) までになります
Low 固定	送信出力は Low パワー (1W) だけになり、その他の出力は選択できません
受信専用	送信が禁止になり、受信専用になります

- ③ [] (決定) キーを押します。

F11 弱電界アラーム

受信信号が微弱になったことを知らせる弱電界アラームの ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F11 弱電界アラーム」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” (初期値) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F12 不在着信ベル

相手からの個別呼び出しを受けた後に応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信では、ベルは鳴りません。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F12 不在着信ベル」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望の動作を選択して、[]（選択）キーを押します。

OFF（初期値）	機能は動作しません。
5 秒毎×2 回	5 秒毎に 2 回鳴らします
2 秒毎	2 秒毎に連続して鳴らします
1 分毎	1 分毎に連続して鳴らします
連続	連続音を鳴らします

- ③ ロータリースイッチをまわしてピープ音の種類（A～M の 13 種類）を選択して、[]（選択）キーを押します。
- ④ ロータリースイッチをまわしてバイブレーターの動作の“ON” / “OFF”を選び []（決定）キーを押します。

F13 アンサーバック

特定の相手局と交信できる状態か確認するアンサーバック機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F13 アンサーバック」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして“ON” / “OFF”を設定します。
- ③ []（決定）キーを押します。

F14 電池アラーム

バッテリーが少なくなったことを知らせるアラーム機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F14 電池アラーム」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして“ON” / “OFF”を設定します。
- ③ []（決定）キーを押します。

F15 CH ガイダンス

電源をオンにしたときやチャンネルを変更した時に、チャンネル番号を音声で案内する機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F15 CH ガイダンス」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F16 クイックアンサー

あらかじめ機能を割りつけたプログラムキー（1または2）を押すと、録音しておいた音声メッセージを自動送信することができる機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F16 クイックアンサー」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F17 ACC 電源

側面の MIC/SP 端子に接続したオプションに供給する、5V 電源の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F17 ACC 電源」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F18 GPS モード

GPS 信号から得た位置情報を送信するタイミングを設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F18 GPS モード」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望のタイミングを選択します。

OFF (初期値)	位置情報の送信は行いません
定期送信	あらかじめ設定してある間隔で送信します
通話時送信	送信を行うたびに送信します
定期送信 + 通話時送信	あらかじめ設定してある間隔および、送信を行うたびに送信します

- ③ [] (決定) キーを押します。

F19 オーディオ出力

受信音やビーブ音の音量を、出力先（本体 / スピーカーマイク / イヤホン）にあわせて、最適になるように切り替えます。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F19 オーディオ出力」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわしてオーディオの出力先を設定します。

本体（初期値）	本体スピーカーに最適な音量になります
スピーカマイク	スピーカマイクに最適な音量になります
イヤホン	イヤホンに最適な音量になります

- ③ []（決定）キーを押します。

F20 PTT ホールド

PTT ボタン（セカンダリ PTT を含む）の動作を、一度押して放しても送信状態を保持して、もう一度押すと待ち受けに戻る動作に変更することができます。詳しくは 60 ページの「PTT ホールド機能」を参照してください。

F21 ワンタッチ VOL

あらかじめ機能を割りつけたプログラムキー（1 または 2）を押すと、音量ツマミをまわさずにワンタッチで音量を一時的に変更することができます。もう一度キーを押すと解除されます。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F21 ワンタッチ VOL」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして音量（レベル 00 ～レベル 31（初期値レベル 00））を調節します。
レベル 00 では、音量が OFF になります。
- ③ []（決定）キーを押します。

F22 CH 空き通知

使用したいチャンネルがすでに交信中の場合、PTT スイッチを 2 回短押しすると空き通知機能が動作し、チャンネルが空いた状態になるとビーブ音で知らせる機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F22 CH 空き通知」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして“ON” / “OFF” を設定します。
- ③ []（決定）キーを押します。

補足

CH 空き通知機能を使用するには、あらかじめ設定が必要です。設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

F23 セミ VOX

自動音声送信 (VOX) 機能がオンのときに周囲の騒音などで不用意に送信しないようにすることができます。自動で送信状態にはならず、PTT (通話) ボタンを押すと送信状態になり、話をしている間は PTT (通話) ボタンを放しても送信を続け、話を止めると自動で待ち受け状態に戻る機能の ON/OFF を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F23 セミ VOX」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F24 VOX 送信保持時間

送信から待ち受けに戻るまでの時間を調整します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F24 VOX 送信保持時間」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして、待ち受け状態に戻るまでの時間 (OFF/0.2 秒 / 0.5 秒 / 1 秒 / 1.5 秒 / 2 秒 / 3 秒 (初期値 1 秒)) を調節します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F25 スキャンタイプ

スキャン機能動作時のスキャン方式を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F25 スキャンタイプ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわしてスキャン方式を選択します。
プログラム 1 / 2 : スキャンしたい複数のチャンネル (スキャンチャンネル) をあらかじめ設定し、スキャンチャンネルと通話チャンネルを自動的に切り替えてモニターしながら待ち受けします。
デュアルレシーブ : 現在の通話チャンネルと事前に設定しておいた一つのチャンネル (プライオリティチャンネル) を自動的に切り替えモニターしながら待ち受けします。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F26 スキャン PTT

スキャン機能動作中の PTT スイッチ操作時に送信するチャンネルを設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F26 スキャン PTT」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望の動作を設定します。

ポジション CH (初期値)	通話チャンネルで送信します
プライオリティ CH	プライオリティチャンネルで送信します
最終通話 CH	最後にスキャンで停止したチャンネルで送信します
AUTO	プログラムスキャン機能が動作中に PTT を押すと、その時のチャンネルに交信相手も自動で移動します。相手の信号が十分強い状態の中で使用してください。

- ③ [] (決定) キーを押します。

スキャン PTT の応用例 (自動チャンネル選択の運用)

スキャン PTT を AUTO に設定し、例えばプログラムスキャン (1 または 2) にスキャンチャンネル “CH01”、“CH03”、“CH05” を設定後にスキャンを開始します。

スキャン中に無線機の PTT を押すと、その時のチャンネルに交信相手局も自動で移動して交信することができます。

なお交信相手局も、同じユーザーコードに設定し、同じチャンネル設定を行う必要があります。

F27 スキャン RX

スキャン機能動作後に、信号を受信してスキャンが停止した後のスキャン再開条件を設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F27 スキャン RX」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして希望の動作を選択します。
スキャン続行：通話終了後、一定時間が経過するとスキャンを再開します。
スキャン終了：スキャンは終了し、停止したチャンネルに移行します。
- ③ [] (決定) キーを押すと、設定が確定されます。

F28 バッテリーセーブ

待ち受け状態でのバッテリー消費を減らすバッテリーセーブ(間欠受信)機能のON/OFFを設定します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F28 バッテリーセーブ」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして “ON” / “OFF” (初期値) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F29 自動電源 OFF

あらかじめ設定した時間何も操作しないと、電源の切り忘れとみなして自動的に電源を OFF にし、電池パックの消費を防ぐことができます。約 1 分前に警告音が鳴り電源が切れます。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F29 自動電源 OFF」を選択 ➡ [] キー
- ② ロータリースイッチをまわして、自動で電源が OFF になるまでの時間 (OFF/1 時間～ 8 時間 (初期値 OFF)) を設定します。
- ③ [] (決定) キーを押します。

F30 プログラムキー 1 短 ～ F33 プログラムキー 2 長

プログラムキー 1 またはプログラムキー 2 を押したとき (短押し) の機能と長押ししたときの機能を変更できます。詳しくは、“プログラムキーの機能を変更する” (44 ページ参照) を参照してください。

F34 Mandown0 度設定

無線機が一定時間 60 度以上傾いた状態になると緊急動作を行うマンドアウン機能動作時に、基準となる 0 度を設定することができます。無線機を斜めの状態で使用する場合などに 0 度設定を行います。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F34 Mandown0 度設定」を選択
- ② [] (実行) キーを押します。
現在の状態が 0 度に設定され、この状態から一定時間 60 度以上傾くと、緊急動作を行います。

F35 履歴リセット

着信履歴、発信履歴、メッセージ履歴を消去します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F35 履歴リセット」を選択 ➡ [] キー
- ② 確認画面が表示されますので、ロータリースイッチをまわして“YES”を選択します。
リセットを中止するときは“NO”を選択して [] キーを押します。
- ③ [] キーを押します。
- ④ 履歴が消去されます。

F36 設定リセット

無線機のすべての設定を初期化します。

- ① [] キー + 電源オン ➡ [] キー ➡ 「F36 設定リセット」を選択 ➡ [] キー
- ② 確認画面が表示されますので、ロータリースイッチをまわして“YES”を選択します。
リセットを中止するときは“NO”を選択して [] キーを押します。
- ③ [] キーを押します。
- ④ 無線機の設定が初期化されます。

コールメニュー

無線機の通信に関係する設定を変更します。

- ① [] キーを押しながら、[VOL] ツマミを右にまわして電源を入れます。
- ② ロータリースイッチをまわして“コールメニュー”を選択して、[] (選択) キーを押します。
- ③ ロータリースイッチをまわして設定するメニュー項目を選択して、[] (選択) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入るとチャンネル表示に戻ります。



項目	設定値 (初期値: 太字)	機能
C01 通信方式 (D)	UC 通信 / 個別通信 / CH 毎	通信方式の選択
C02 UC (D)	000 ~ 511	ユーザーコードの選択
C03 自局 ID (D)	個別 0001 ~ 個別 0256	個別通信時の自局 ID 設定
C04 グループ ID (D)	グループ 0001 ~ グループ 0256	個別通信時の自グループ ID 設定
C05 UC ベル	0 回 / 1 回 / 2 回 / 3 回	同一 UC からの呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数
C06 個別ベル	0 回 / 1 回 / 2 回 / 3 回	個別呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数
C07 グループベル	0 回 / 1 回 / 2 回 / 3 回	グループ呼び出しを知らせるベル音の鳴る回数
C08 宛先設定	通話前 / 通話中 / 固定	個別通信で応答待ち時間 (通話タイマー) が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。
C09 固定宛先 (D)	個別 0001 ~ 0256 (個別 0002) グループ 0001 ~ 0256	個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局の ID またはグループ ID を設定します。
C10 緊急個別 ID	個別 0001 ~ 個別 0256	緊急を知らせたい相手局の ID 設定
C11 通話タイマー	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 60 秒 / CONT	個別通信時の通話保持時間の設定
C12 秘話 ID	OFF / \$01 ~ \$20	プリセット秘話コードの選択

C01 通信方式 (D)

通信方式を“UC 通信”または“個別通信”に切り換えることができます。

- ① コールメニューの「C01 通信方式」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして通信方式を選択します。

UC 通信 (初期値)	UC (ユーザーコード) 通信方式になります
個別通信	個別通信方式になります
CH 毎	チャンネルごとに異なる UC コード、送信出力、秘話コードなどを設定することができます。

補足

“チャンネル毎”の設定に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C02 UC (D)

個別通信に使用する自局 ID を設定します。

- ① コールメニューの「C02 UC(D)」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして自局の ID を 1 桁ずつ入力します。

001 (初期値) ~ 511	個別通信に使用する自局 ID
-----------------	----------------

※「U02 個別宛先 ID」と同じ ID 番号は設定できません。

- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 操作②と操作③を繰り返して 3 桁を入力し、 (決定) キーを押します。
- ⑤ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C03 自局 ID (D)

個別通信に使用する自局 ID を設定します。

- ① コールメニューの「C03 自局 ID (D)」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、希望の自局 ID を選択します。
- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C04 グループ ID (D)

個別通信のグループ呼出に使用する自グループ ID を設定します。

- ① コールメニューの「C04 グループ ID (D)」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、希望のグループ ID を選択します。
- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C05 UCベル

UC 通信で運用中に、UC（ユーザーコード）が同じ相手局から、呼び出しを受けた時にピープ音を鳴らすことができます。詳しくは、60 ページの「UC ベル機能（UC 通信のみ）」を参照してください。

C06 個別ベル

個別通信で運用中に、個別呼び出しを受けた時にピープ音を鳴らすことができます。

詳しくは、62 ページの「個別ベル / グループベル（個別通信のみ）」を参照してください。

C07 グループベル

個別通信で運用中に、グループ ID が同じ相手局から呼び出しを受けた時にピープ音を鳴らすことができます。詳しくは、62 ページの「個別ベル / グループベル（個別通信のみ）」を参照してください。

C08 宛先設定

個別通信で応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

- ① コールメニューの「C08 宛先設定」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、希望の表示方法を選択します。

通話前（初期値）	通話を行う前に設定した呼び出し先の ID を表示します。
通話中	通話していた相手局の ID を表示します。
固定	あらかじめ「固定宛先 (D)」で設定した呼び出し先の ID を表示します。

- ③ [>]（決定）キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C09 固定宛先 (D)

「C08 宛先設定」を“固定”に設定した際に表示させる宛先 ID を設定します。

- ① コールメニューの「C09 固定宛先 (D)」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、表示させる個別 ID またはグループ ID を選択します。
- ③ [>]（決定）キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C10 緊急個別 ID

緊急を知らせたい相手局の ID を設定します。

- ① コールメニューの「C10 緊急個別 ID」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、相手局の ID を選択します。
- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C11 通話タイマー

応答待ち時間（通話タイマー）を設定することができます。通話タイマーとは、相手が応答するまでの待ち時間で、呼び出した側または呼び出しを受けた側両方でタイマーが動作します。タイマー動作中は LED インジケータが水色に点灯します。

- ① コールメニューの「C11 通話タイマー」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、希望の応答待ち時間を選択します。
設定できる時間は 5 秒、10 秒、15 秒、30 秒、60 秒、CONT（連続）です。
- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

C12 秘話 ID

秘話機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話機能を利用するには秘話コードの設定が必要です。32,767 通りの秘話コードから、販売店で 20 個分（\$01 ～ \$20）の秘話コードをあらかじめ設定することができますが、ご希望の秘話コードを設定することもできます。

- ① コールメニューの「C12 秘話 ID」を選択します。
- ② ロータリースイッチをまわして、希望の秘話コードを選択します。
選択できる秘話コードは \$01 ～ \$20、*** です。

OFF（初期値）	秘話機能を OFF にします。
\$01 ～ \$20	あらかじめ販売店で登録した秘話コードを使用します。 ※ 秘話コードの変更などに関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。
***	あらかじめ設定した秘話コードを使用します。 秘話コードの設定方法は 49 ページの「秘話通信機能」を参照してください。

- ③ [] (決定) キーを押します。
- ④ 電源を切って再び電源を入れるとチャンネル表示に戻ります。

オプションの取り付け

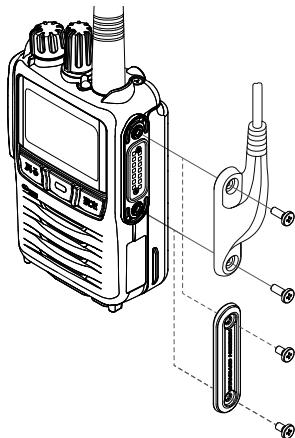
- ① ネジを外して MIC/SP 端子のアクセサリコネクタ保護カバーを取り外します。
- ② オプションに付属のネジを使って、オプションを取り付けます。

注意

オプション類は、無線機の電源を切った状態で取り付けてください。

補足

- ・ 取り外したアクセサリコネクタ保護カバーとネジは、必ず保管しておいてください。
- ・ MIC/SP 端子やオプションのコネクタの端子を、時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れると接触不良により、正常に使用できません。
- ・ オプション類を接続しないときは、MIC/SP 端子にアクセサリコネクタ保護カバーを取り付けておいてください。



◎ 外部マイクの感度について

セットメニューの「F04 外部マイク感度」(68 ページ参照)で、マイク感度を調節することができます。

◎ オプションの電源供給について

5V の電源を必要とするオプション類に電源を供給することができます。セットメニューの「F17 ACC 電源」(71 ページ参照)で“ON”に設定します。(工場出荷時設定は“OFF”です)

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか? 修理を依頼される前にお確かめください。

◎ 電源が入らない!

- ・ 電池パックが消耗していませんか?
 ➡ 電池パックを充電してください。
- ・ 電池パックの端子が接触不良になっていませんか?
 ➡ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ 電池パックが古くなっていませんか?
 ➡ 電池パックの寿命です。新しい電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない!

- ・ **PTT** ボタンを正しく押していますか?
- ・ **PTT** ボタンがロックされていませんか?
- ・ 送信出力制限の設定が“受信専用”になっていませんか?

◎ 音がでない!

- ・ 消音 (ミュート) 機能が「オン」になっていませんか?

◎ 通話できない!

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか?
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか?
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか?
 ➡ 本無線機はデジタル通信方式の無線機です。アナログによる交信はできません。
- ・ 相手局と同じ UC (ユーザーコード) に設定していますか?
- ・ 個別通信の場合、宛先 ID / グループ ID があっていませんか?
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか?
 ➡ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

◎ キー操作ができない!

- ・ ディスプレイに“**On**”が表示されていませんか?
 ➡ キーロック機能を割り当てたプログラムキー (工場出荷時は、プログラムキー 1) を長押ししてキーロックを解除してください。

定格

一般

- 送受信周波数： デジタル簡易無線免許局 (6.25kHz 間隔、65 波)
467.00000MHz ~ 467.40000MHz
- 電波型式： F1C/F1D/F1E/F1F
- 通信方式： 単信プレストーク式
- 電池持続時間： 1900mAh リチウムイオン電池パック (SBR-33LI)
(5W 出力、送信：受信：待受 = 5 : 5 : 90 の割合)
セーブ機能オフ時：約 11 時間
セーブ機能オン時：約 16 時間
- 電源電圧： DC7.4V $\pm$ 10%
- 温湿度範囲： 温度 -20°C ~ +60°C
湿度 95% (35°C)
- 本体寸法： 高さ 91.5mm $\times$ 幅 55.8mm $\times$ 奥行き 29.4mm
※ SBR-33LI 装着時、突起部を含まず
- 重量： 約 237g
(SBR-33LI、アンテナ、アクセサリコネクタ保護カバーを含む)

送信部

- 空中線電力： 5W/2.5W/1W (+20%、-50% 以内)
- 空中線インピーダンス： 50 Ω 不平衡
- 発振方式： 水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
- 周波数許容偏差： $\pm$ 1.5ppm 以内
- 変調方式： 4 値 FSK
- 占有周波数帯域幅： 5.8kHz 以下
- 最大周波数偏移： $\pm$ 1324Hz 以内
- 隣接チャンネル漏洩電力： -52dB 以下 (2.5W 時)
- スプリアス発射： 2.5 μ W 以下
- 不要輻射： 2.5 μ W 以下
- 標準変調入力： -44dBm $\pm$ 5dB
- 変調入力インピーダンス： 600 Ω

受信部

受信方式：	ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数：	第1：50.85MHz、第2：450kHz
局発周波数変動：	±1.5ppm 以内
受信感度：	-2dB μ V 以下 (BER=1%)
スプリアスレスポンス：	53dB 以上 (BER=1%)
隣接チャンネル選択度：	6.25kHz 42dB 以上 (BER=1%)
相互変調特性：	53dB 以上 (±12.5kHz、±25kHz) (BER=1%)
低周波出力：	0.8W 以上 (10% 歪時)
低周波出力インピーダンス：	12 Ω
副次的に発する電波等の強度：	4nW 以下

索引

B

Bluetooth 機能	38, 55
Bluetooth の設定	6

L

LED インジケータ	16
------------	----

M

MIC/SP 端子	16
-----------	----

P

PTT ホールド機能	60
PTT(通話) ボタン	15

R

RX イコライザー機能	52
-------------	----

T

TX イコライザー機能	53
-------------	----

U

UC (ユーザーコード) 通信	29
UC ベル機能	61

V

VOL ツマミ	14
VOX 感度	53
VOX 機能	39

あ

宛先 ID	58
アフターサービス	8
アルカリ乾電池ケース (オプション) の使いかた	24
アンサーバック	58
安全上のご注意	9
アンテナコネクター	14
アンテナの取り付け	20

い

一斉呼出	31
一斉呼び出しを受けたとき	36

お

オプション	12
オプションの取り付け	81

か

拡張機能	64
各部の名前と機能	14
簡易設定	46

き

キーロック機能	27
基本的な使いかた	26

く

クイックアンサー機能	51
クイックガイド	2
グループ親機に設定した場合の グループ呼び出し設定	34
グループ子機に設定した場合の 自グループの設定	34
グループ着信割り込み設定について	35
グループベル	62
グループ呼出	31
グループ呼び出しを受けたとき	36

こ

高温時の保護機能	37
構成品	12
コールメニュー	77
故障かな?と思う前に	82
個別通信	31
個別ベル	62
個別呼出	31
個別呼び出しを受けたとき	36

し

自局情報	57
自動音声送信 (VOX) 機能	7, 39
消音機能	41

す

スキャン機能	51
スキャンタイプ	52
スキャン CH	52
スピーカー	16

せ

セカンダリ PTT 機能	60
設定キー	4, 16
設定のリセットについて	28
セットメニュー	65
セミ VOX 機能	41
全員を一斉に呼び出す	35

そ

送信出力設定	39
--------	----

た	
正しくご使用いただくために	11
ち	
着信履歴	58
つ	
通信時に動作する機能について	37
通信方式に関して	12
通信方式について	28
通話中の「ビビビ」音 (連続送信時間制限)	37
て	
定格	83
デュアルレシーブ機能	63
電池の消耗について	25
電池パックの取り付け	21
電池パックの取り外し	21
電波干渉について	11
と	
特定の相手呼び出す	33
特定のグループに属する 全員を呼び出す	33
の	
ノイズキャンセリングマイク	16
ノイズキャンセル機能	53
は	
発信履歴	58
ひ	
ヒートプロテクション (高温時の保護機能)	37
秘話通信機能	49
ふ	
プライオリティ CH	41
プライオリティ CH スキャン機能	63
フルドットディスプレイ	16
プログラムキー 1	3, 15
プログラムキー 2	3, 15
プログラムキーの機能を変更する	44
へ	
ベルトクリップの取り付け	20
便利な機能	38
ほ	
防水性能について	11

ま	
マイク	16
マンドアウン	43
み	
ミュート	41
む	
無線機情報	57
め	
メイン画面	54
メッセージ確認	59
メッセージ送信	58
メモリーチャンネル	54
も	
戻るキー	5, 15
ゆ	
ユーザーコード通信	29
よ	
呼び出しを受けたとき	36
ら	
ライト禁止	49
り	
リチウムイオン電池パック	16
リチウムイオン電池パックの 充電方法	22
リピート再生機能	50
リモート制御	59
れ	
連続送信時間制限	37
ろ	
ロータリースイッチ	14
ローンワーカー	42
録音メモ機能	50

STANDARD HORIZON

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。
詳しくは下記の URL をご覧ください。

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：<http://www.yaesu.com/jp/>



E N O O 8 U O O 1

1908A-BC-1
Printed in China